



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. IM-BPMについて
 - 3.1. IM-BPMの特徴
- 4. 基本編
 - 4.1. プロセスインスタンスの開始
 - 4.2. タスクについて
 - 4.3. グループタスクを操作する
 - 4.3.1. 担当者に設定する
 - 4.3.2. 担当者を割り振る
 - 4.3.3. 表示項目を変更する
 - 4.4. 個人タスクを操作する
 - 4.4.1. 担当者を外す
 - 4.4.2. 処理する
 - 4.4.3. 一括で処理する
 - 4.4.4. 表示項目を変更する
 - 4.4.5. 処理済のタスクを確認する
 - 4.4.6. 処理の履歴を確認する
 - 4.5. ポートレット
 - 4.5.1. 個人タスクポートレット
- 5. 管理者編
 - 5.1. プロセス定義
 - 5.1.1. デプロイする
 - 5.1.1.1. デプロイする
 - 5.1.1.2. デプロイ内容を確認する
 - 5.1.2. アンデプロイする
 - 5.1.3. プロセス定義を確認する
 - 5.1.3.1. プロセス定義一覧
 - 5.1.3.2. プロセス定義詳細
 - 5.1.4. プロセス定義の無効化
 - 5.2. プロセスインスタンス
 - 5.2.1. プロセスインスタンスを確認する
 - 5.2.1.1. プロセスインスタンス一覧
 - 5.2.1.1.1. プロセスインスタンス一覧を確認する
 - 5.2.1.1.2. 表示項目を変更する
 - 5.2.1.2. プロセスインスタンス詳細
 - 5.2.1.3. 障害中のサービスを再実行する
 - 5.2.2. プロセスインスタンスの変数を確認する
 - 5.2.2.1. 変数参照
 - 5.2.2.2. 変数操作
 - 5.2.2.2.1. 変数を追加する
 - 5.2.2.2.2. 変数を編集する
 - 5.2.2.2.3. 変数を削除する
 - 5.2.3. プロセスインスタンスのマイグレーションを行う
 - 5.2.3.1. マイグレーションとは

- 5.2.3.2. マイグレーション
- 5.2.3.3. 一括マイグレーション
- 5.3. タスク
 - 5.3.1. タスクを管理する
 - 5.3.1.1. タスクの一覧を確認する
 - 5.3.1.2. 表示項目を変更する
 - 5.3.1.3. 担当者を割り振る
- 5.4. BAM
 - 5.4.1. 全体管理画面
 - 5.4.2. Elasticsearch、Kibana連携
- 5.5. ポートレット管理
 - 5.5.1. 個人タスクポートレット
- 5.6. インポート/エクスポート
 - 5.6.1. インポート
 - 5.6.1.1. インポートを行う
 - 5.6.2. エクスポート
 - 5.6.2.1. すべてのデータをエクスポートする
 - 5.6.2.2. 指定のデータをエクスポートする
 - 5.6.2.3. エクスポートするデプロイメントの内容を確認する

改訂情報

変更年月日	変更内容
2016-08-01	初版
2016-12-01	<p>第2版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「管理者編」に「タスク」を追加。 ▪ 「表示項目を変更する」に変数の検索機能を追加。 ▪ 「プロセスインスタンス」に「プロセスインスタンスの変数を確認する」を追加。 ▪ 「プロセスインスタンスの開始」のページに業務キー登録手順を加筆。 ▪ 下記のページの一覧テーブルについて、追加された列の説明を加筆しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「プロセスインスタンスの開始」 ▪ 「グループタスクを操作する」 ▪ 「個人タスクを操作する」
2017-04-01	<p>第3版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「デプロイする」にデプロイ時にデプロイ名を任意に設定できるようにした説明を加筆しました。 ▪ 「デプロイする」にデプロイ時にカテゴリを既存のカテゴリからを任意に選択できるようにした説明を加筆しました。 ▪ 「プロセスインスタンスの開始」にプロセス定義の設定により業務キーの入力有無を設定できるようにした説明を加筆しました。 ▪ 「インポート/エクスポート」を追加しました。 ▪ 「処理済のタスクを確認する」の担当日時をユーザタスク開始時に担当になった場合も表示するようになったため説明を一部削除しました。 ▪ 下記のページにカテゴリの説明を加筆しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「グループタスクを操作する」 ▪ 「個人タスクを操作する」 ▪ 「タスクを管理する」 ▪ 「ポートレット」を追加しました。 ▪ 「ポートレット管理」を追加しました。 ▪ 下記のページにドキュメントの説明を加筆しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「プロセスインスタンスの開始」 ▪ 「グループタスクを操作する」 ▪ 「個人タスクを操作する」 ▪ 「プロセス定義詳細」 ▪ 「プロセスインスタンス詳細」 ▪ 「タスクを管理する」

はじめに

本書の目的

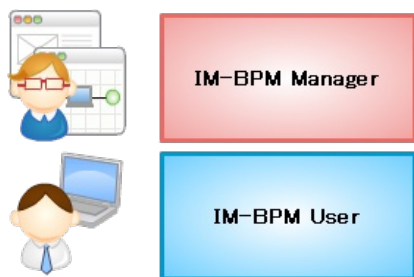
本書は、IM-BPM for Accel Platform（以下 IM-BPM）を利用するユーザの皆様の支援を目的とした操作ガイドです。

対象読者

本書では以下のユーザを対象としています。

- IM-BPMの一般ユーザでの画面操作を知りたい
- IM-BPMの管理者での画面操作を知りたい

IM-BPMでは、利用する機能に応じて、ユーザを以下のように分類しております。
ユーザの役割に合わせて必要なドキュメントを参照してください。



IM-BPM管理者

- IM-BPMでプロセス全体の状況を把握し、分析～実行～評価～改善のPDCAサイクルを行います。
- 作成したプロセス定義をデプロイしたり、プロセスインスタンスの監視等を行います。

IM-BPM一般ユーザ

- IM-BPMで定義されたユーザタスクを実行します。

本書の構成

本書は次の構成となっています。

- [IM-BPMについて](#)

IM-BPMの特徴について説明します。

- [基本編](#)

IM-BPMの提供する一般ユーザが、操作できる画面の基本的な機能について説明します。

- [管理者編](#)

IM-BPMの提供する管理者で、操作できる画面について説明します。

IM-BPMについて

IM-BPMの特徴

IM-BPMは、BPMN（Business Process Model and Notation）2.0「国際標準（ISO19510）」に準拠した「プロセス定義」に従い、その流れに応じて処理を行う「プロセスインスタンス」を進める機能です。

業務プロセスに合わせて柔軟なプロセス定義を作成することが可能です。

分析～実行～評価～改善のPDCAサイクルをトータルにサポートするBPM（Business Process Management）環境を提供します。

- BPMN2.0に準拠した IM-BPM Designerにより、現状業務プロセスを定義
- 定義されたプロセスをシステムに実装し、業務プロセスを実行
- プロセスの実行状況を監視し、改善ポイントを発見
- 最適な業務プロセスへ継続的に改善

コラム

IM-BPM Designerの詳細については「[IM-BPM Designer 操作ガイド](#)」を参照してください。

以下、IM-BPMの持つ機能を説明します。

各機能の使い方については、各機能のページで詳細を確認してください。

- [デプロイ機能](#)

IM-BPM Designerで作成したモジュールをデプロイします。

- [アンデプロイ機能](#)

デプロイしたモジュールをアンデプロイ（削除）します。

- [プロセスインスタンスの開始](#)

デプロイされているプロセス定義のプロセスインスタンスを開始します。

- [ユーザタスク処理](#)

プロセスインスタンスのユーザタスクを処理します。

- [ユーザタスクの担当者の操作](#)

ユーザタスクの担当者を自分にしたり、他のユーザに割り当てたりします。担当を外すことも可能です。

- [プロセス定義の確認](#)

プロセス定義の詳細や状況を確認できます。

- [プロセス定義の無効化](#)

プロセス定義の有効/無効を切り替えることができます。

- [プロセスインスタンスの確認](#)

プロセスインスタンスの詳細や状況を確認できます。

- [障害中のプロセスインスタンスの再実行](#)

障害中のプロセスインスタンスを再実行します。

- [プロセスインスタンスのマイグレーション](#)

プロセスインスタンスをマイグレーション（移行）します。

- [タスク管理](#)

タスクを管理します。

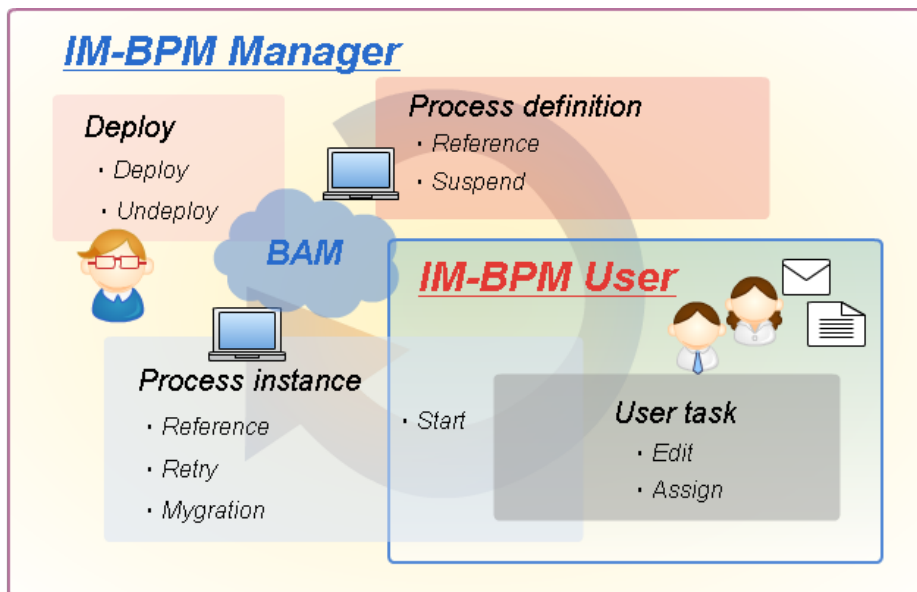
- **BAM (Business Activity Monitoring) 機能**

全体管理画面を通して、業務分析を行います。

Elasticsearchに情報を蓄積しKibanaの機能を用いて、業務分析を行います。

- **インポート/エクスポート**

データのインポートとエクスポートを行います。



基本編

ここでは IM-BPM の提供する一般ユーザが操作できる画面の基本的な機能について説明します。

プロセスインスタンスの開始

デプロイされているプロセス定義のプロセスインスタンスを開始します。

プロセス定義毎に開始権限が付与されているユーザのみプロセスインスタンスを開始することができます。

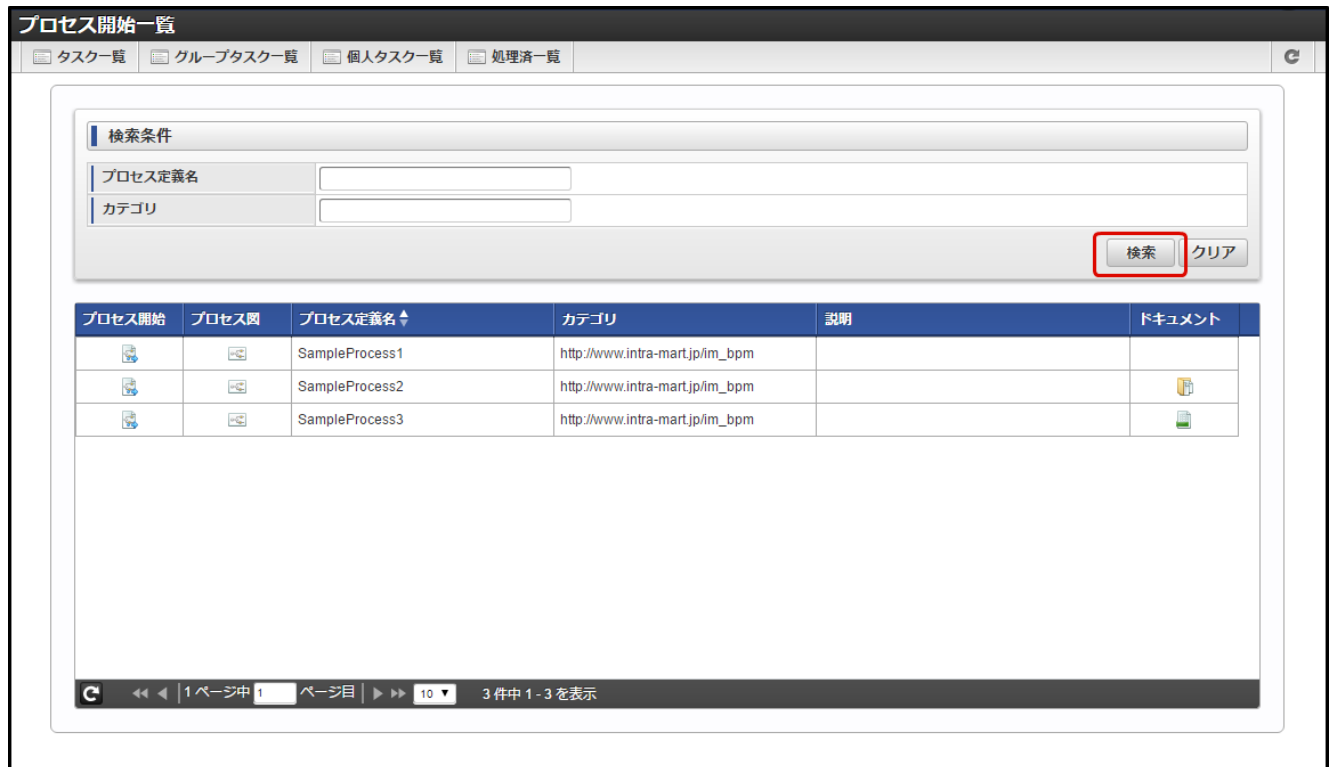
i コラム

プロセス定義に開始権限が付与されているユーザとは、プロセス定義の処理対象ユーザおよび、処理対象グループに設定されているユーザです。



プロセス定義の開始権限の詳細については「IM-BPM 仕様書」 - 「プロセス定義の開始権限」を参照してください。

プロセス開始一覧画面から開始します。

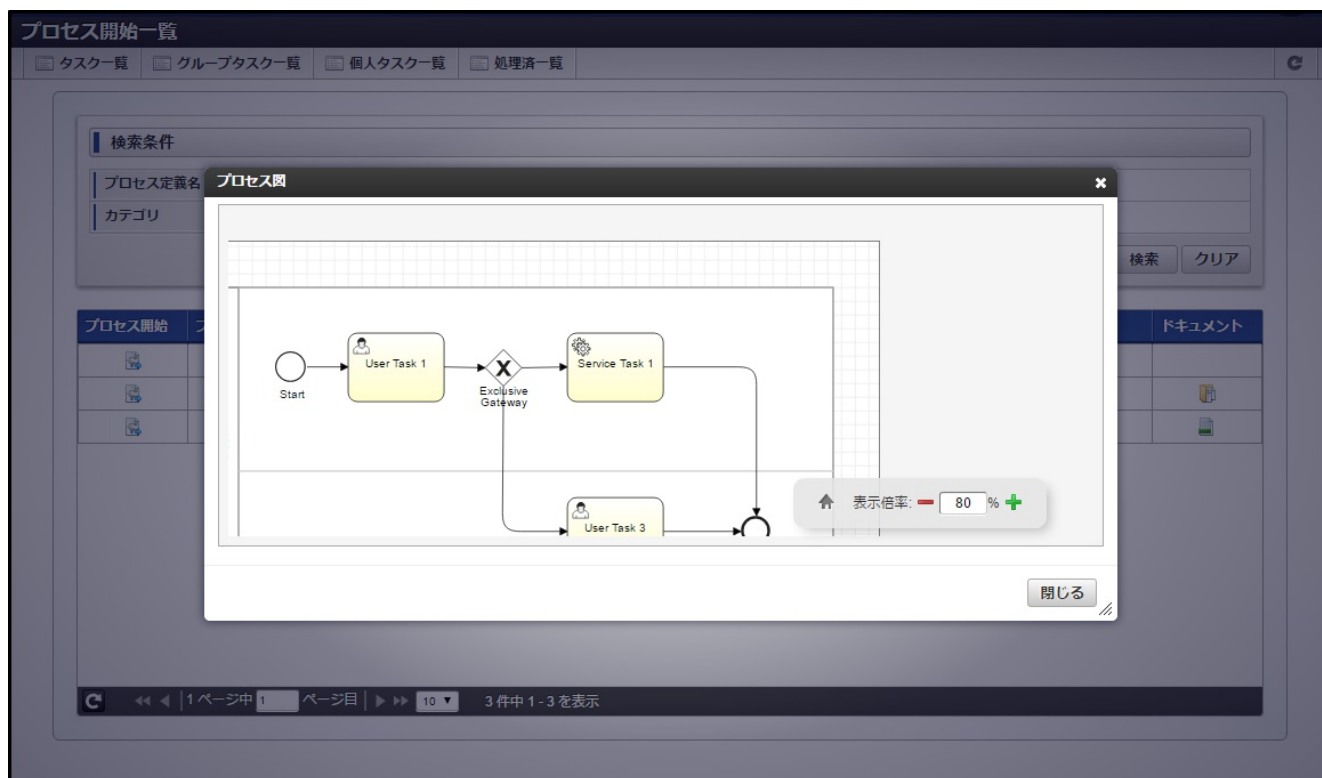
1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス開始一覧」を押下します。
2. 開始したいプロセス定義を検索します。



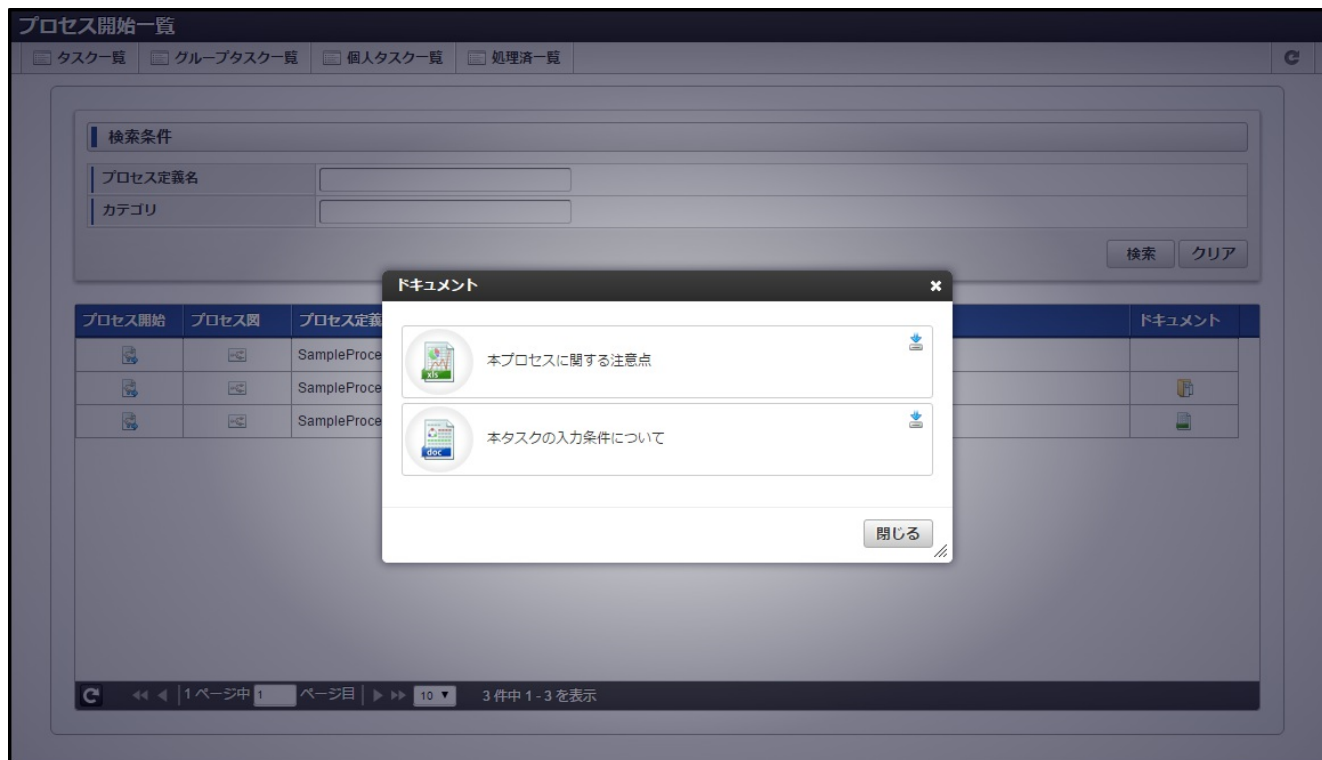
図：プロセス開始一覧

項目名	説明	検索条件
プロセス開始	 を押下すると、プロセスインスタンスが開始されます。	-
プロセス図	 を押下すると、プロセス図が表示されます。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	部分一致
説明	プロセス定義の説明文が表示されます。	-


項目名	説明	検索条件
ドキュメント	プロセス定義および、スタートイベントのドキュメントが表示されます。	-

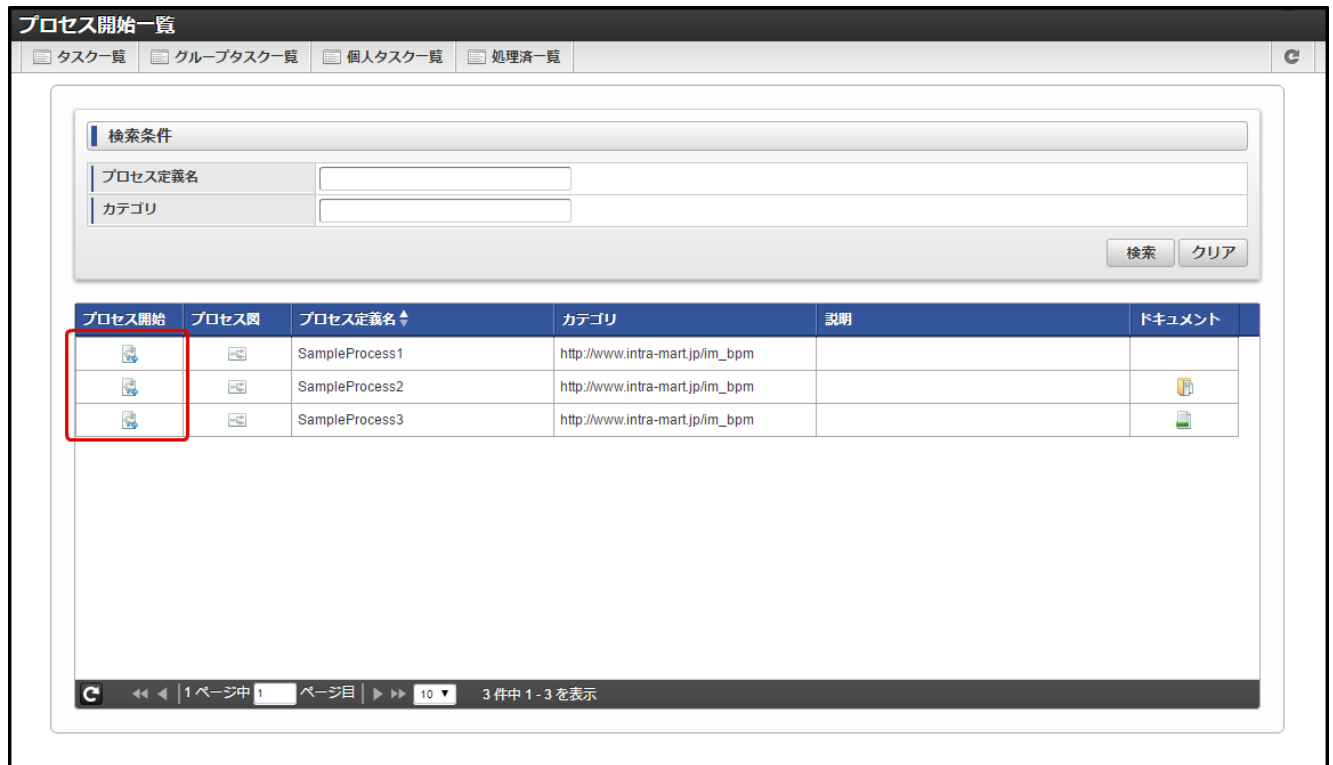


図：プロセス図



図：ドキュメント

- 開始したいプロセス定義の  を押下します。



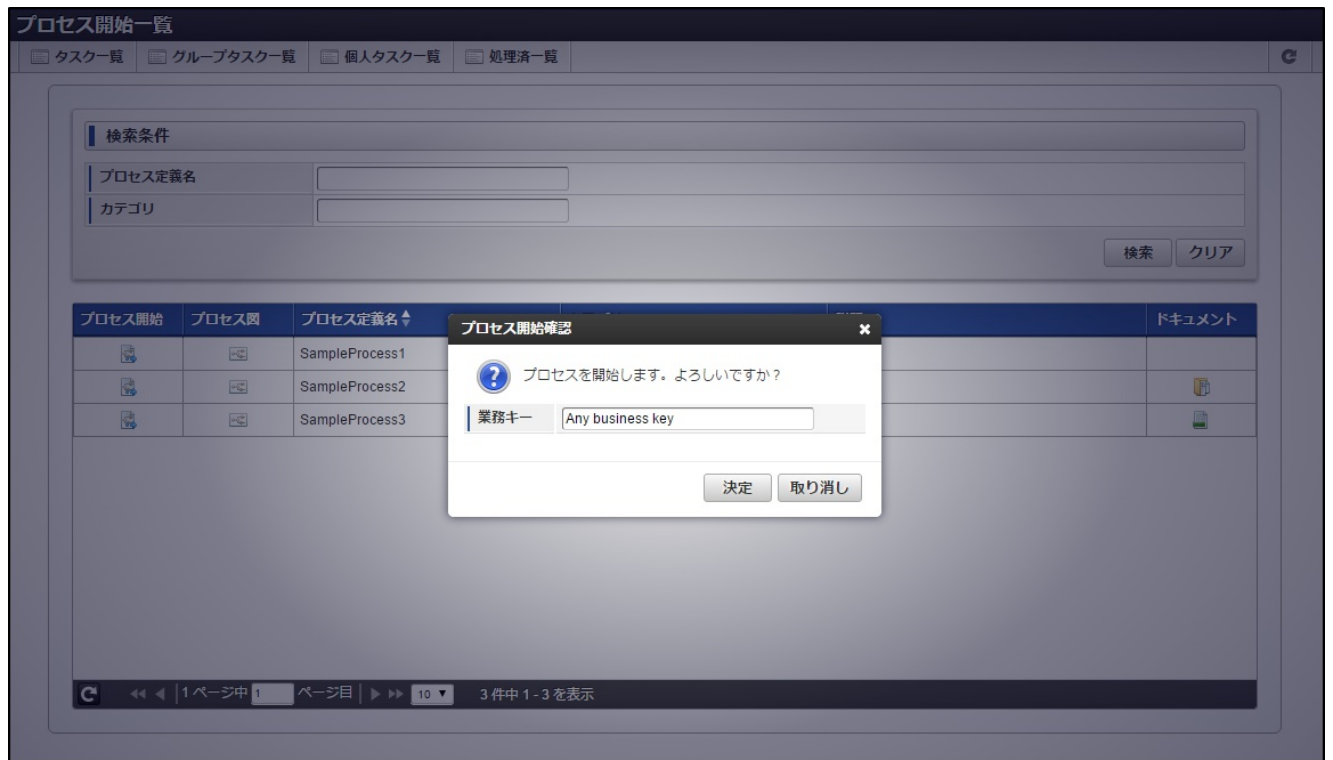
図：プロセス開始一覧



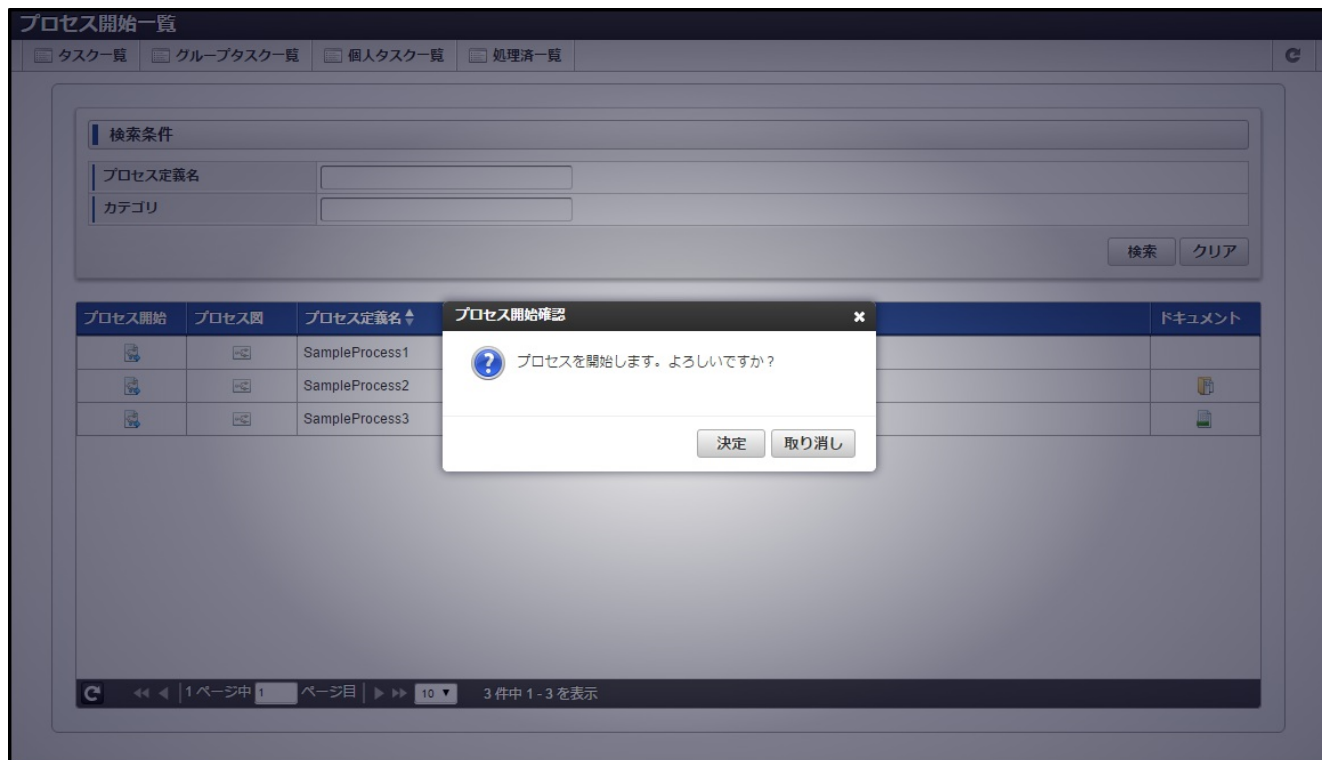
コラム

プロセス定義の開始イベントに画面が設定されている場合は、該当するプロセス開始画面に遷移します。

4. プロセス開始確認ダイアログにて、必要に応じて業務キーを入力します。業務キーは省略可能です。プロセス定義の設定により業務キーの入力有無を設定できます。



図：プロセス開始確認ダイアログ（業務キーあり）



図：プロセス開始確認ダイアログ（業務キーなし）

i コラム

プロセス定義の開始イベントにIM-FormaDesignerのアプリケーションを設定する場合、当該アプリケーションに配置した画面アイテムの「フィールド識別ID」に `bpm_business_key` を設定することで、その入力値を業務キーとして登録することができます。

データ型「文字列」として登録されるフィールドのみ、IM-BPMの業務キー登録用のフィールドとして利用可能です。

業務キーの入力有無の設定に関しては、「[IM-BPM Designer 操作ガイド](#)」を参照してください。

タスクについて

プロセスインスタンスのタスクにおいて、ユーザが操作できるタスクがユーザタスクです。

ユーザタスクは、状態により「グループタスク」と「個人タスク」に分類できます。

■ グループタスク

担当者が割り振られていないユーザタスクです。

ユーザタスクに対して、操作権限があるユーザおよびグループのみ、操作することが可能です。

グループタスクに分類されている場合、ユーザタスクを処理することはできません。

■ 個人タスク

自分に担当が割り振られているユーザタスクです。

処理することができる状態のユーザタスクです。

自分以外のユーザが操作することができない状態です。

i コラム

グループタスクと個人タスクについては「[グループタスクを操作する](#)」と「[個人タスクを操作する](#)」の各操作のページで詳細を確認してください。

グループタスクを操作する

項目

- 担当者に設定する
- 担当者を割り振る
- 表示項目を変更する

担当者に設定する

グループタスクに分類されているユーザタスクの担当を自分に設定します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

※ グループタスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

2. 担当にしたいグループタスクを検索します。

タスク一覧

プロセス開始一覧 | グループタスク一覧 | 個人タスク一覧 | 処理済一覧 | 振り分け | 一括処理

グループタスク

検索条件

プロセス定義名:

業務キー:

カテゴリ:

タスク名:

優先度: ~

作成日時: ~

検索 クリア

履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にす?
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		

表示設定

1 ページ中 1 ページ目 | 10 | 3 件中 1 - 3 を表示

個人タスク



検索条件


処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外?
<input type="checkbox"/>		CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:00		

表示設定

1 ページ中 1 ページ目 | 10 | 1 件中 1 - 1 を表示

図：タスク一覧

項目名	説明	検索条件
履歴	 を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
作成日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
ドキュメント	プロセス定義および、ユーザタスクのドキュメントが表示されます。	-
担当にする	 を押下すると、自分を担当にします。	-

3. 担当にしたいグルーptタスクの  を押下します。

担当者を割り振る

グルーptタスクに分類されているユーザタスクの担当にユーザを指定します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。
※ グルーptタスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。
2. 担当にしたいグルーptタスクを検索します。
3. 担当にしたいグルーptタスクを選択します。複数選択可能です。

タスク一覧

プロセス開始一覧 | グループタスク一覧 | 個人タスク一覧 | 処理済一覧 | 振り分け | 一括処理

グループタスク

検索条件

プロセス定義名

業務キー

カテゴリ

タスク名

優先度 ~

作成日時 ~

検索 クリア

表示設定

<input checked="" type="checkbox"/>	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にす
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

個人タスク

検索条件

表示設定

<input type="checkbox"/>	処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
<input type="checkbox"/>			CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:00		

1 ページ中 1 ページ目 10 1 件中 1 - 1 を表示

図：タスク一覧

- 「振り分け」を押下します。

タスク一覧

プロセス開始一覧 | グループタスク一覧 | **個人タスク一覧** | 処理済一覧 | **振り分け** | 一括処理

グループタスク

▼ 検索条件

プロセス定義名:

業務キー:

カテゴリ:

タスク名:

優先度: ~

作成日時: ~

検索 クリア

表示設定

<input checked="" type="checkbox"/>	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にす
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

個人タスク

▼ 検索条件

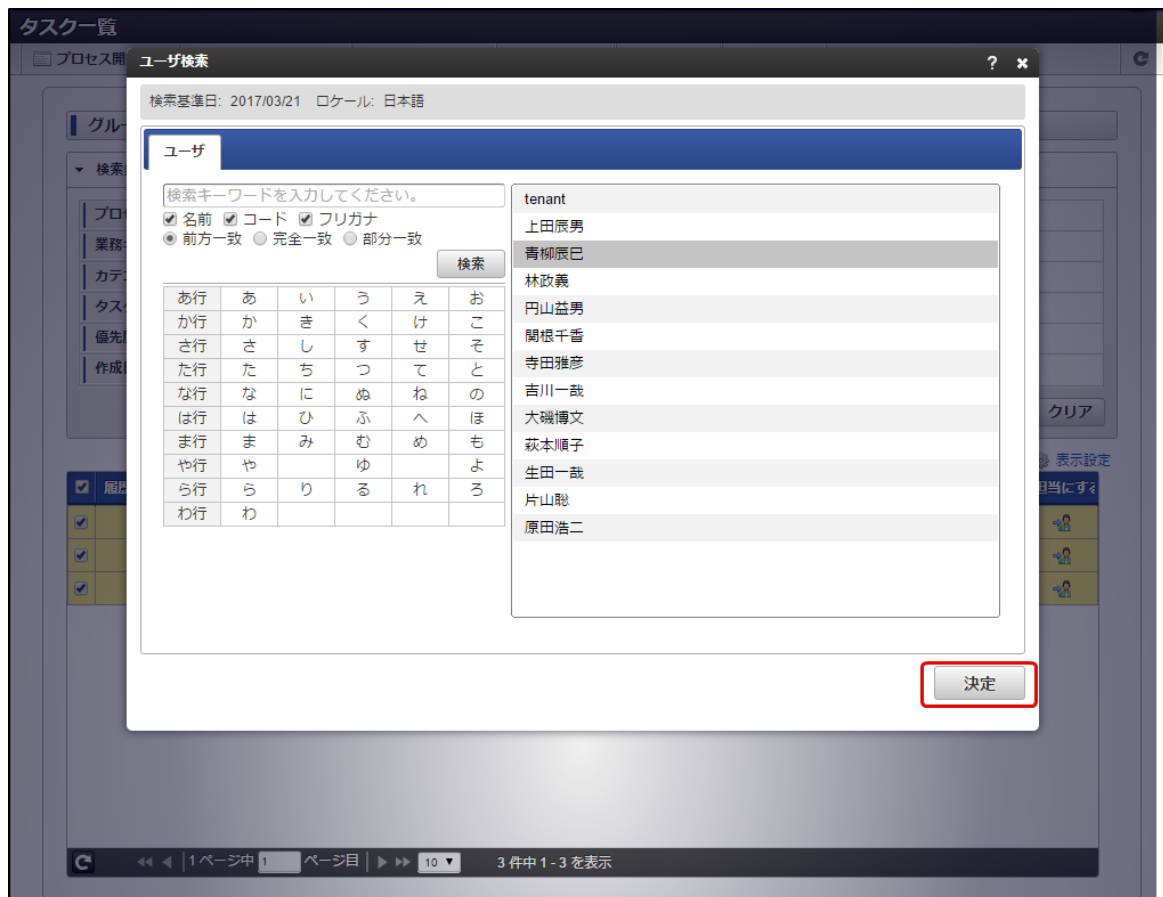
表示設定

<input type="checkbox"/>	処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
<input type="checkbox"/>			CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:00		

1 ページ中 1 ページ目 10 1 件中 1 - 1 を表示

図：タスク一覧

5. ユーザを検索して、決定を押下します。



図：ユーザ検索

表示項目を変更する

グループタスクに分類されているユーザタスクの一覧の表示項目を変更します。一覧表示設定では、グループタスク一覧の表示項目の編集を行うことができます。また、プロセスインスタンスの変数情報を表示する列を追加することもできます。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。
2. 「表示設定」リンクを押下します。

Task List

Process Start List | Group Task List | Personal Task List | Processed List | Assign | Process Batch

Group Task

Search Condition

Process Definition Name: Process 2
 Business Key:
 Task Name: 1st
 Priority: ~
 Create Date: ~

Search Clear

Display Setting

History	Process Definition Name	Business Key	Task Name	Priority	Create Date	Claim
	Sample Business Process 2	Work 2	1st Task	50	Oct 9, 2016 1:13:03 A	

Page 1 of 1 | 10 | View 1 - 1 of 1

Personal Task

Search Condition

Process Definition Name:
 Business Key:
 Task Name:
 Priority: ~
 Create Date: ~

Search Clear

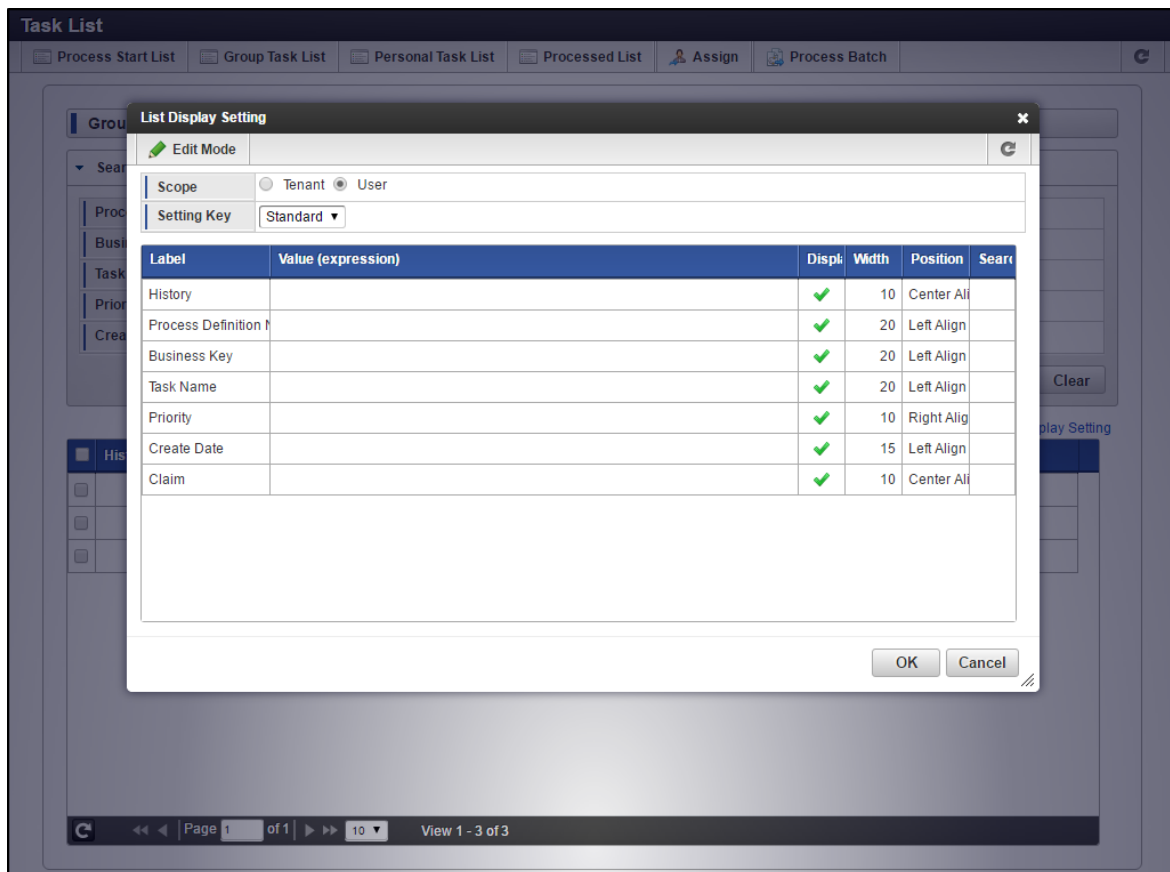
Display Setting

Process	History	Process Definition Name	Business Key	Task Name	Priority	Create Date	Unclaim
		Sample Business Process	Work 5	1st Task	50	Oct 9, 2016 1:13:52	
		Sample Business Process	Work 4	1st Task	50	Oct 9, 2016 1:13:48	
		Sample Business Process	Work 3	1st Task	50	Oct 9, 2016 1:13:09	

Page 1 of 1 | 10 | View 1 - 3 of 3

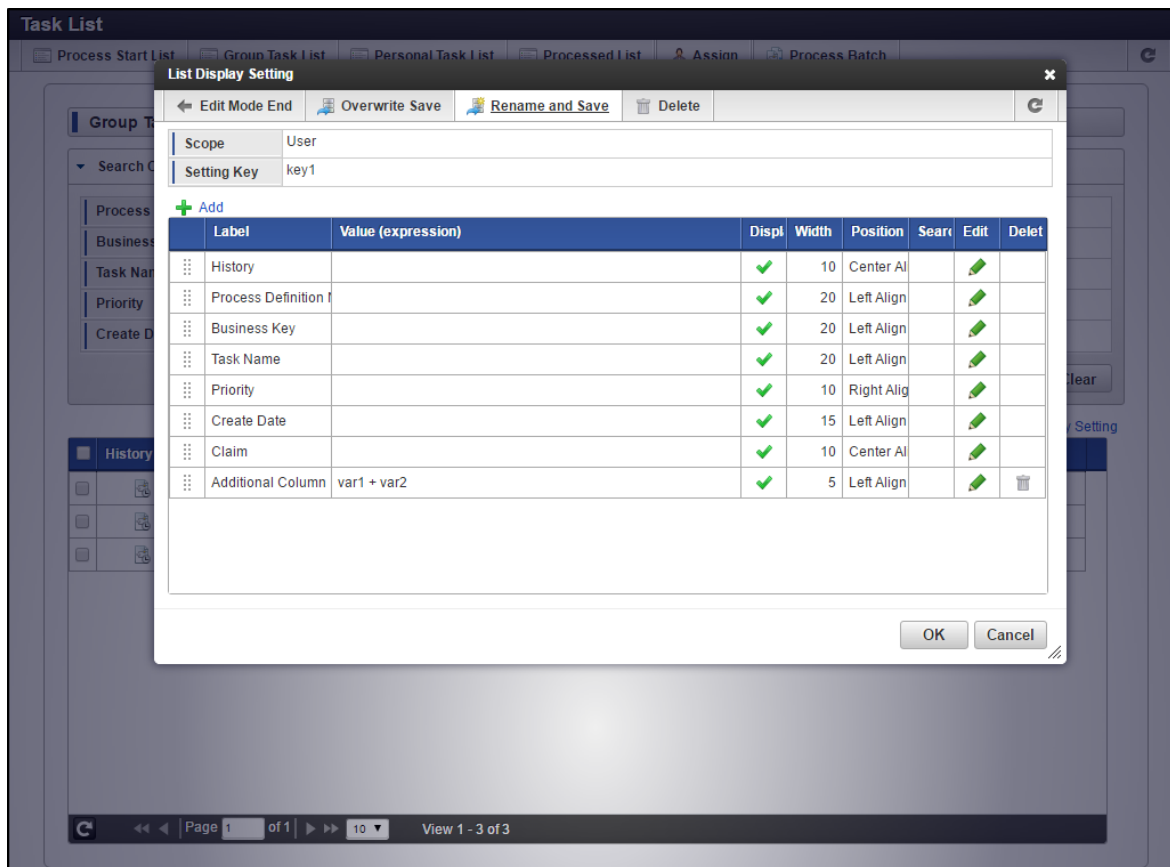
図：タスク一覧

- 設定キーで任意のキーを選択し「決定」を押下すると、選択した設定キーの一覧表示設定を反映します。表示項目を変更したい場合は、「編集モード」を押下します。



図：一覧表示設定

4. 編集モードで一覧表示項目の設定を追加、変更することができます。
編集内容はユーザごとに保存されるため、他のユーザは変更内容を参照できません。






図：一覧表示設定 - 編集モード

- ヘッダメニュー

項目名	説明
編集モード終了	編集モードを終了します。編集中の情報は破棄されず画面上に保持しますが、保存されていない情報は画面の更新や設定キーの変更操作で破棄されます。
上書き保存	編集対象の設定キーが自身で作成したものである場合に表示されます。編集内容を上書き保存します。
新規保存	編集対象の設定キーが「標準」または、管理者によって登録されたものである場合に表示されます。自身が編集した内容を新規の設定キーで保存します。
別名保存	変更した内容を別名で保存します。
削除	当該設定キーで保存された一覧表示設定を削除します。


- 一覧

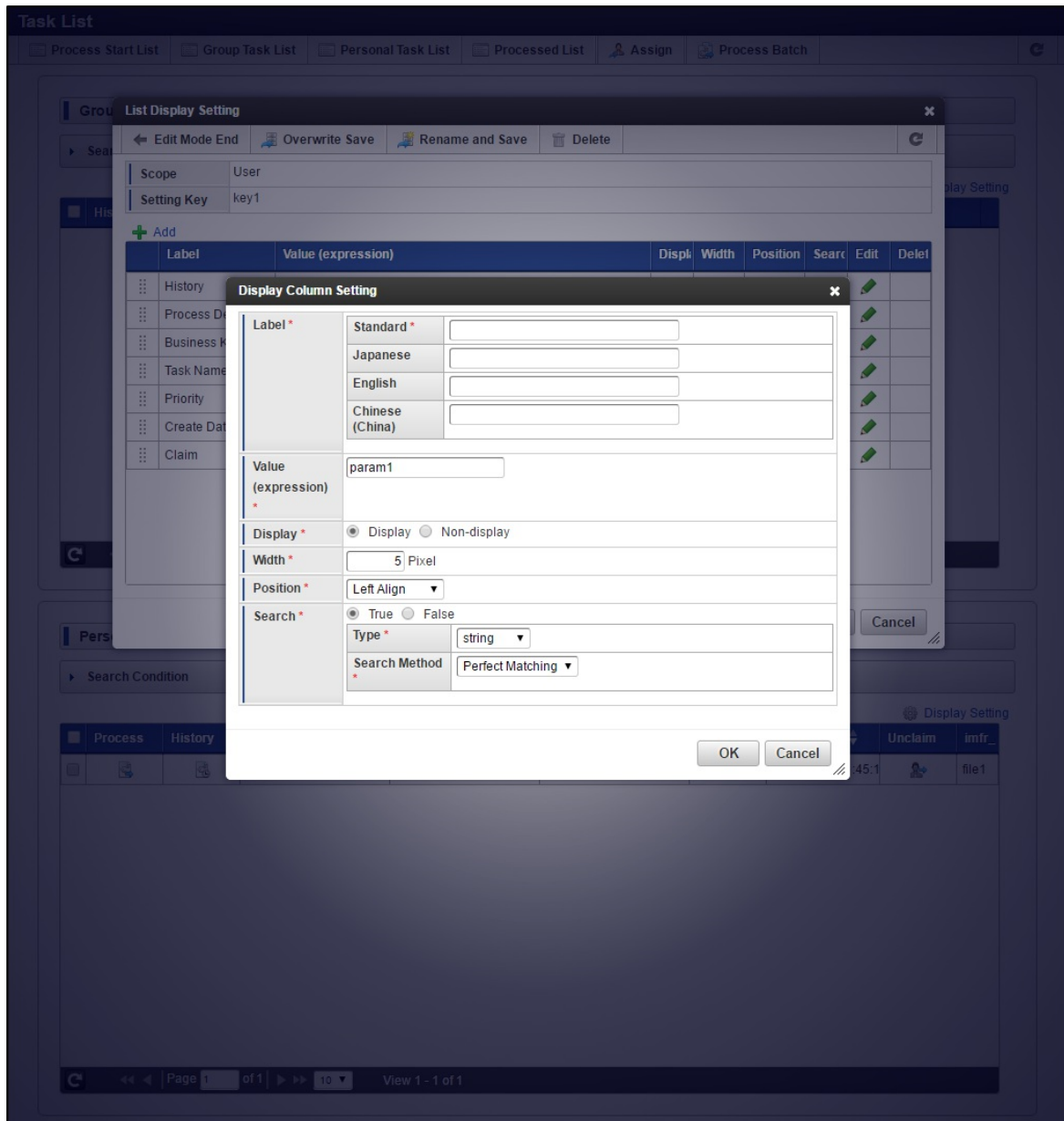
項目名	説明
	ドラッグ&ドロップで列の表示順を変更することができます。
ラベル	列ヘッダラベルとして表示される文字列です。
値 (式)	セルに表示する値の定義です。
表示	<input checked="" type="checkbox"/> : この列は表示されます。 <input type="checkbox"/> : この列は表示されません。
幅	列の幅を表す値です。
位置	セル内の値の表示位置です。
編集	 を押下すると「表示カラム設定」ダイアログが開き、表示項目の設定を変更することができます。
削除	ユーザにより追加された項目の場合、  を押下すると表示項目が削除されます。



コラム

編集対象の設定キーが管理者によって作成されたものの場合、それ自体を上書き保存することはできません。ただし、同名の設定キーで保存することが可能です。同名の設定キーで保存した場合、管理者が登録したものよりも、自身が登録したものが優先的に利用されます。自身が同名で保存した設定キーを削除すれば、管理者が登録したものが利用できます。

5. 「追加」または  を押下します。
6. 表示カラム設定ダイアログでカラムの設定を行うことができます。



図：表示カラム設定

項目名	説明
ラベル	一覧テーブルのヘッダに表示されるラベルを設定します。 ラベルは国際化に対応しています。 ユーザのロケールに合わせたラベルが利用されます。 自身が追加したカラムでない場合は、この項目は表示されません。
値（式）	一覧テーブルのセルの値の定義を設定します。 プロセスインスタンスの変数を利用して、JavaScriptの式を記述できます。 自身が追加したカラムでない場合は、この項目は表示されません。
表示	列の表示設定です。
幅	列の幅を設定します。
位置	セル内の値の表示位置を設定します。
検索 有効 / 無効	有効の場合、検索の条件として使用できます。 無効の場合、検索の条件として使用しません。 ※値（式）に英数字と一部の記号の組み合わせで設定されている場合のみ表示されます。
検索 型	検索対象の変数の型を設定します。 string, integer, long, double, date, booleanを選択できます。

項目名	説明
検索 検索方法	検索する条件の検索方法を設定します。型により選択肢が異なります。 完全一致、部分一致、入力値を含む範囲（以上、以下）、入力値を含まない範囲（超過、未満）を選択できます。

コラム

「値（式）」にはJavaScriptの式のみ記述することができます。
文を記述することはできません。

また、式は閉じたスコープで実行されるため、プロセスインスタンスの変数以外のオブジェクトは参照できません。

コラム

「値（式）」の入力例

- 【例】 プロセスインスタンスの変数「amount」に通貨単位プレフィックスを付与する

```
"$" + amount
```

- 【例】 プロセスインスタンスの変数「number1」と「number2」を比較し、大きい方の値を表示する

```
number1 > number2 ? number1 : number2
```

- 【例】 プロセスインスタンスの変数「variables」オブジェクトのプロパティ「var1」と「var2」と「var3」のうち、「var1」が存在すれば「var1」の値を表示し、「var2」が存在すれば「var2」の値を表示し、「var3」が存在すれば「var3」の値を表示する

```
variables.var1 || variables.var2 || variables.var3
```

コラム

ロケールの決定

ラベルに利用されるロケールの決定の詳細は、「[アクセスコンテキスト仕様書](#)」 - 「[アカウントコンテキスト](#)」 - 「[プロパティの解決順序](#)」のロケールの項を参照してください。

コラム

検索機能

値（式）に英数字と一部の記号の組み合わせで設定されている場合のみ表示されます。日本語や記号（-, +）が含まれる変数には利用できません。

【例】

variable1 + variable2 JavaScriptの式のため、利用できません。

変数名 1 日本語のため、利用できません。

個人タスクを操作する

項目

- 担当者を外す
- 処理する
- 一括で処理する
- 表示項目を変更する
- 処理済のタスクを確認する
- 処理の履歴を確認する

担当者を外す

自分に割り当てられている個人タスクをグループタスクにします。


1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。


※ 個人タスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。


2. 担当から外したい個人タスクを検索します。



図：タスク一覧

項目名	説明	検索条件
処理	ユーザタスクに画面が設定されている場合は、該当する画面に遷移します。 画面が設定されていない場合は、そのままユーザタスクが完了され、次のアクティビティに遷移します。	-
履歴	 を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致

項目名	説明	検索条件
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
作成日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
ドキュメント	プロセス定義および、ユーザタスクのドキュメントが表示されます。	-
担当を外す	 を押下すると、自分から担当を外します。	-

3. 担当から外したい個人タスクの  を押下します。

タスク一覧

プロセス開始一覧 グループタスク一覧 個人タスク一覧 処理済一覧 振り分け 一括処理

グループタスク

検索条件

履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にする
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:0		

[表示設定](#)

1 ページ中 1 ページ目 10 1 件中 1 - 1 を表示

個人タスク

検索条件

プロセス定義名	<input type="text"/>
業務キー	<input type="text"/>
カテゴリ	<input type="text"/>
タスク名	<input type="text"/>
優先度	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
作成日時	<input type="text"/> <input type="text"/> ~ <input type="text"/> <input type="text"/>

[表示設定](#)

処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:		

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

図：タスク一覧

処理する

個人タスクを処理します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

※ 個人タスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

2. 処理したい個人タスクを検索します。

3. 処理したい個人タスクの  を押下します。



タスク一覧

プロセス開始一覧 | グループタスク一覧 | 個人タスク一覧 | 処理済一覧 | 振り分け | 一括処理

グループタスク

検索条件

履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にする
	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ1	User Task 1	50	2017/03/21 17:0		

1 ページ中 1 ページ目 10 1 件中 1 - 1 を表示

個人タスク

検索条件

プロセス定義名

業務キー

カテゴリ

タスク名

優先度 ~

作成日時 ~

検索 クリア

処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
		CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ2	User Task 2	50	2017/03/21 16:		

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

図：タスク一覧

ユーザタスクに画面が設定されている場合は、該当する画面に遷移します。

画面が設定されていない場合は、そのままユーザタスクが完了され、次のアクティビティに遷移します。

一括で処理する

個人タスクを一括で処理します。

1. 処理したい個人タスクを検索します。
2. 処理したい個人タスクを選択します。複数選択可能です。

タスク一覧

プロセス開始一覧 | グループタスク一覧 | 個人タスク一覧 | 処理済一覧 | 振り分け | 一括処理

グループタスク

検索条件

履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にする
	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:0		

1 ページ中 1 ページ目 10 1件中 1-1 を表示

個人タスク

検索条件

プロセス定義名:

業務キー:

カテゴリ:

タスク名:

優先度: ~

作成日時: ~

検索 クリア

処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:		

1 ページ中 1 ページ目 10 3件中 1-3 を表示

図：タスク一覧

3. 「一括処理」を押下します。

ユーザタスクに画面が設定されている場合は、該当する画面に遷移します。

画面が設定されていない場合は、そのままユーザタスクが完了されます。

個人タスクの選択されている上から順に処理されます。途中で処理を中断した場合、以降の処理は行われません。

タスク一覧

プロセス開始一覧 グループタスク一覧 個人タスク一覧 処理済一覧 振り分け 一括処理

グループタスク

検索条件

履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にする
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:0		

1 ページ中 1 ページ目 10 1 件中 1 - 1 を表示

個人タスク

検索条件

プロセス定義名

業務キー

カテゴリ

タスク名

優先度 ~

作成日時 ~

検索 クリア

処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input checked="" type="checkbox"/>		CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:		

3 件中 1 - 3 を表示

図：タスク一覧

表示項目を変更する

個人タスクに分類されているユーザタスクの一覧の表示項目を変更します。
 ※個人タスク一覧画面の設定もここで設定された内容が反映されます。

コラム

設定方法の詳細は「グループタスクを操作する」の「表示項目を変更する」を参照してください。

処理済のタスクを確認する

自分が処理したタスクを確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

2. 「処理済一覧」を押下します。

タスク一覧

プロセス開始一覧 | グループタスク一覧 | 個人タスク一覧 | **処理済一覧** | 振り分け | 一括処理

グループタスク

検索条件

■	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当にする
<input type="checkbox"/>		CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:0		

1 ページ中 1 ページ目 10 1 件中 1 - 1 を表示

個人タスク

検索条件


■	処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメント	担当を外
<input type="checkbox"/>			CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input type="checkbox"/>			CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:		
<input type="checkbox"/>			CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:		

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

図：タスク一覧


3. 検索条件を任意に設定し検索します。

図：処理済一覧


項目名	説明	検索条件
履歴	 を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
開始日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
担当日時	ユーザタスクの担当になった日時が表示されます。 再度担当を振りなおすと、振りなおした時点の日時が表示されます。	-
終了日時	ユーザタスクの終了日時が表示されます。	範囲

処理の履歴を確認する

プロセスインスタンスの履歴を時系列で確認できます。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。
2. グループタスクの一覧で  を押下します。

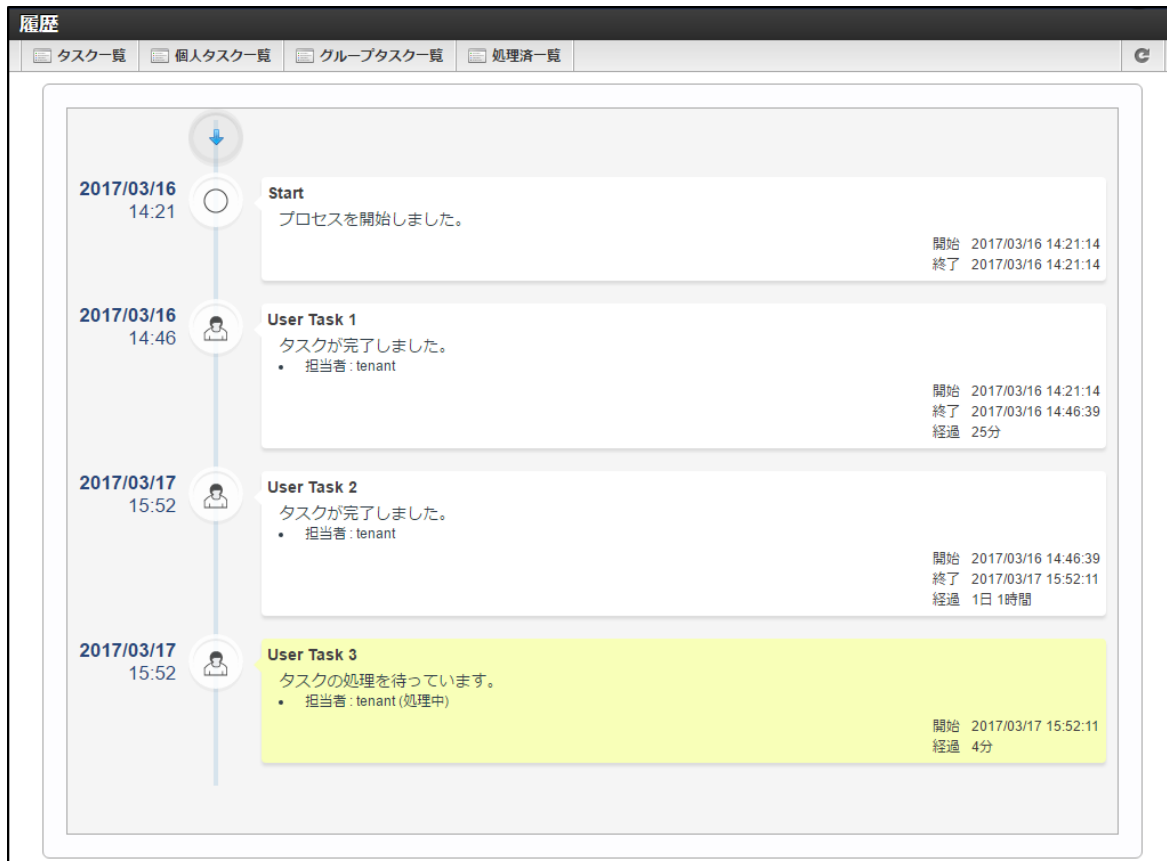
コラム

タスク一覧画面の個人タスク一覧、個人タスク一覧画面、処理済タスク一覧画面からも  により履歴画面へ遷移することができます。

コラム

「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザのみ履歴画面へ遷移することができます。

3. プロセスインスタンスの履歴を確認できます。



日時	タスク名	ステータス	担当者	開始時刻	終了時刻	経過時間
2017/03/16 14:21	Start	開始	-	2017/03/16 14:21:14	2017/03/16 14:21:14	-
2017/03/16 14:46	User Task 1	完了	tenant	2017/03/16 14:21:14	2017/03/16 14:46:39	25分
2017/03/17 15:52	User Task 2	完了	tenant	2017/03/16 14:46:39	2017/03/17 15:52:11	1日 1時間
2017/03/17 15:52	User Task 3	処理中	tenant (処理中)	2017/03/17 15:52:11	-	4分

図：履歴

i コラム

開始イベントやユーザタスク等の履歴からは、処理時の入力フォームの履歴を参照することができます。

2017/03/16
15:13

User Task 1

タスクが完了しました。
[タスク詳細](#)

- 担当者: tenant

開始 2017/03/16 15:03:20
終了 2017/03/16 15:13:56
経過 10分

コールアクティビティの履歴からは、呼び出し先のプロセスインスタンスの履歴に遷移することができます。

2017/03/16
16:13

Call activity

process2 を呼び出しました。

開始 2017/03/16 16:13:42
経過 3分

申請タスク、または起票タスクの履歴からは、申請（起票）したワークフローの履歴を参照することができます。


2017/03/16
15:24

draftTask

直線ルート[JavaEE開発モデル] を呼び出しました。

- [案件番号]: 0000000001
- [案件名]: 案件名
- [完了状態]: 案件操作

開始 2017/03/16 15:16:36
終了 2017/03/16 15:24:51
経過 8分

4.  を押下すると、履歴の時系列順序を変更することができます。

ポートレット

IM-BPMでは、以下のポートレットが用意されています。

- 項目
- 個人タスクポートレット

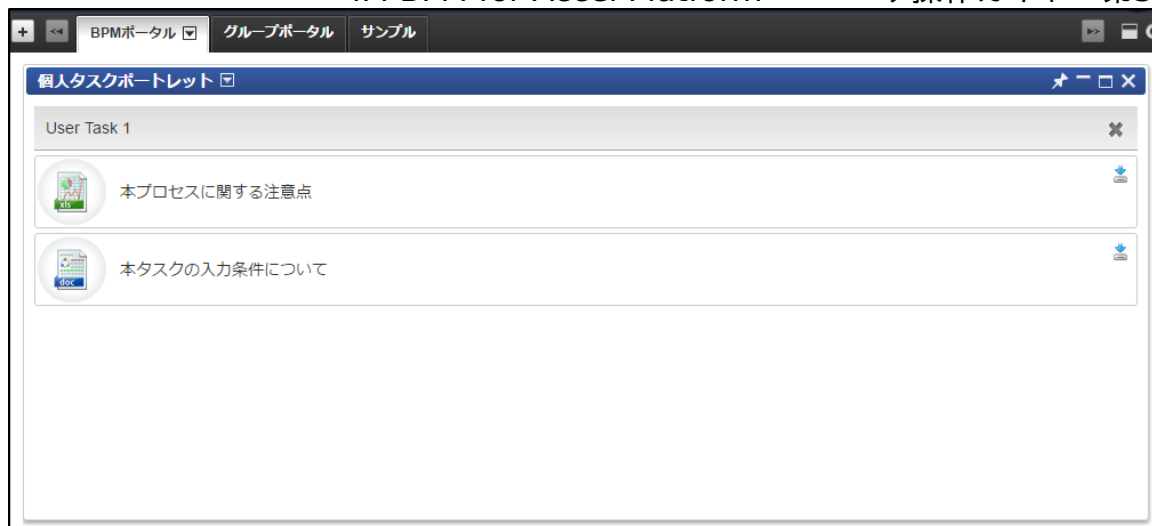
個人タスクポートレット

個人タスクポートレットは、ポータルから個人タスクの確認と操作を行うことができます。



処理	履歴	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	作成日時	ドキュメン	担当を外す
		DocumentProcess	business5		User Task 1	50	2017/03/24 13:38		
		DocumentProcess			User Task 1	50	2017/03/23 14:47		
		CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
		CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
		CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	2017/03/21 17:00		
		CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	2017/03/21 16:59		

図：個人タスクポートレット



図：個人タスクポートレット（ドキュメント）

コラム

操作方法は、「[個人タスクを操作する](#)」を参照してください。

管理者編

ここでは IM-BPMの提供する管理者で、操作できる画面について説明します。
管理者の認可権限を持っているユーザのみ操作可能です。

管理者権限を付与することにより、プロセス全体の状況を把握し、分析～実行～評価～改善のPDCAサイクルを円滑に行えます。
一般ユーザと管理者を区別することにより業務の役割を明確にすることができます。

プロセス定義

ここでは IM-BPMのプロセス定義の機能を紹介します。

デプロイする

デプロイする資材は、IM-BPM Designerで作成できます。
デプロイ資材に含まれるプロセス定義ファイルをデプロイすることにより、プロセス定義を IM-BPM/上で動作させることができます。
デプロイする資材に関する詳細は、「[IM-BPM Designer 操作ガイド](#)」を参照してください。

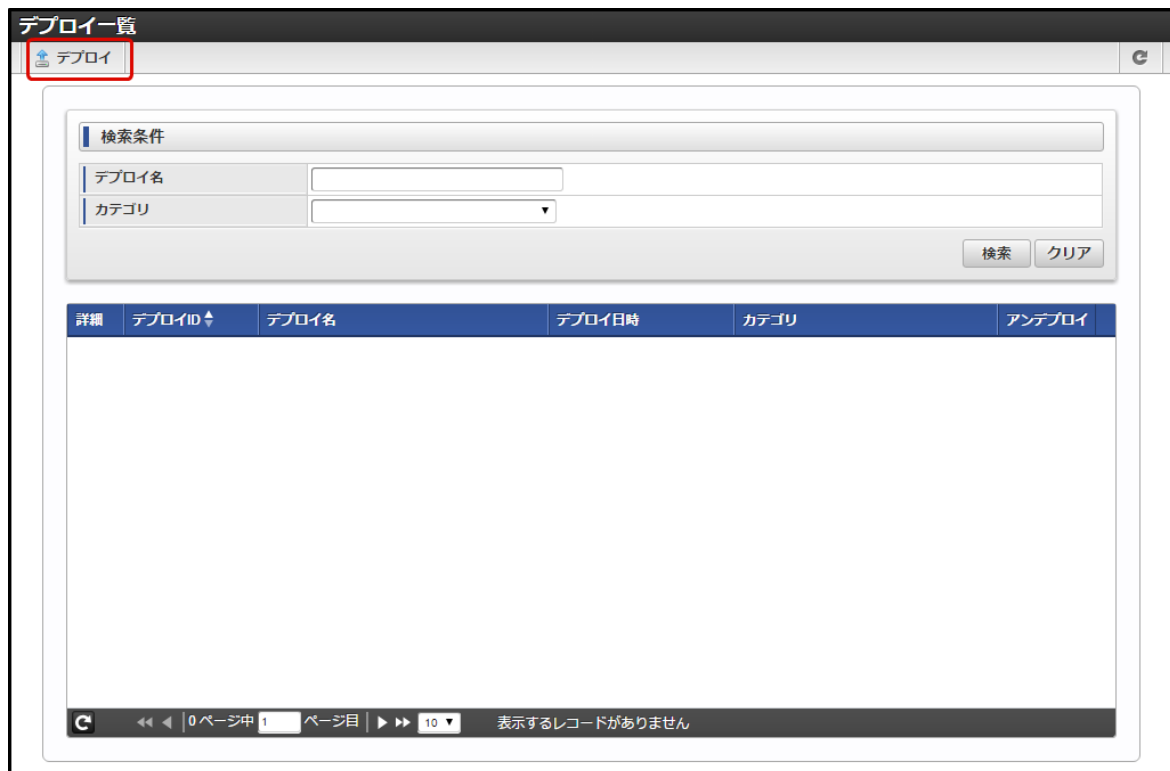
項目

- [デプロイする](#)
- [デプロイ内容を確認する](#)

デプロイする

IM-BPM Designerで作成したモデルデプロイ資材をデプロイします。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「デプロイ一覧」を押下します。
2. 「デプロイ」を押下します。



図：デプロイ一覧

3. デプロイ名とカテゴリを任意入力し、IM-BPM Designerで作成したデプロイ資材を選択してデプロイを押下します。

図：デプロイ

項目名	説明
デプロイ名	デプロイ名を入力します。省略した場合、ファイル名がデプロイ名に設定されます。
カテゴリ	カテゴリを入力します。または、既存のカテゴリから選択します。
ファイル	デプロイするファイルを選択します。

コラム

同一のプロセス定義キーのプロセス定義をデプロイした場合、バージョンが1上がったプロセス定義がデプロイされません。

旧バージョンのプロセス定義が削除されることはありません。

バージョンを上げて、実行中のプロセスインスタンスは以前のバージョンのプロセス定義で動作します。


実行中のプロセスインスタンスを新しいバージョンで動作させたい場合は、マイグレーションを検討してください。

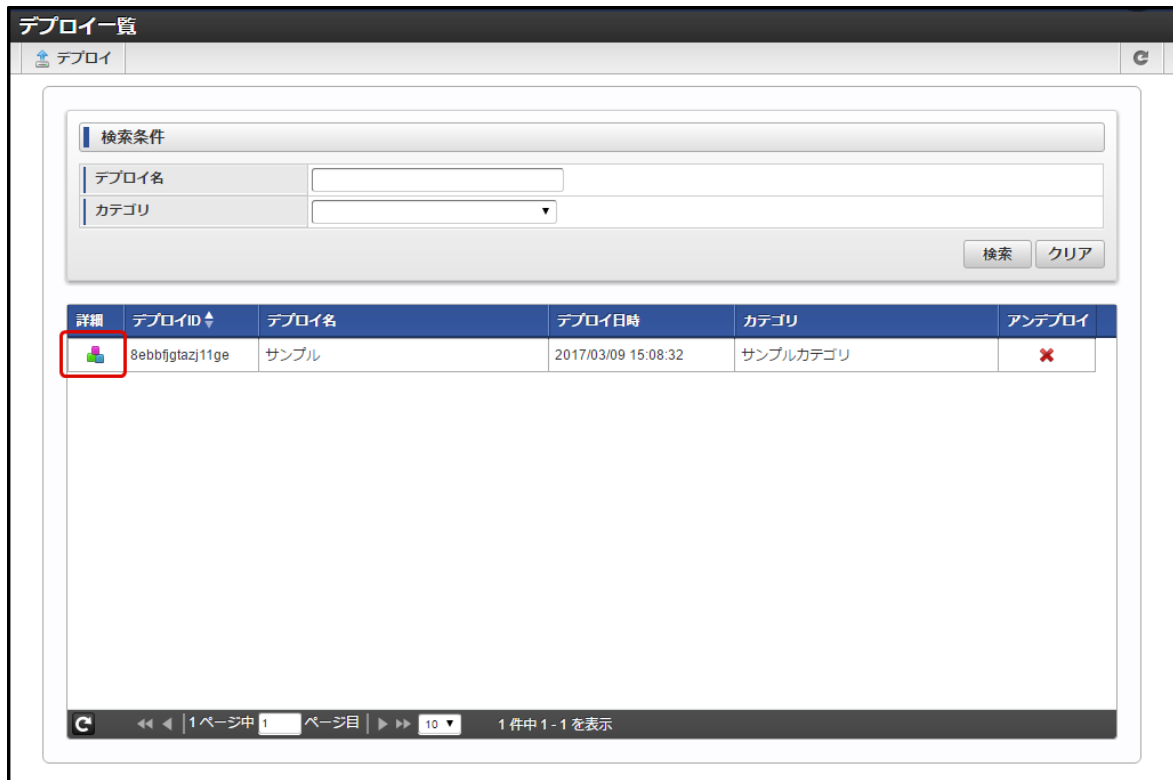
プロセス定義のバージョンについての詳細は「[IM-BPM 仕様書](#)」 - 「[プロセス定義のバージョンについて](#)」を参照してください。

マイグレーションについての詳細は「[プロセスインスタンスのマイグレーションを行う](#)」を参照してください。

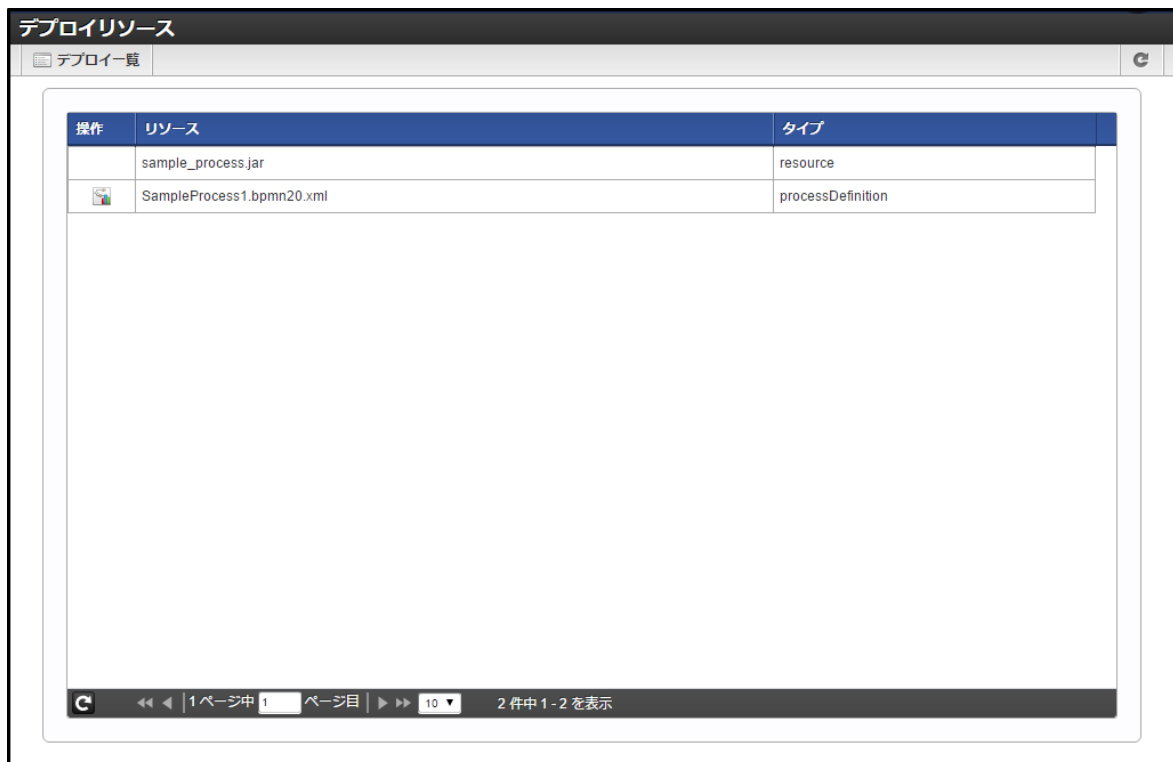
デプロイ内容を確認する

デプロイしたモジュールの内容を確認します。


1. 「サイトマップ」→「BPM」→「デプロイ一覧」を押下します。
2. デプロイの内容を確認したいデプロイ情報を検索します。
3. デプロイの内容を確認したいデプロイ情報の  を押下します。



図：デプロイ一覧



図：デプロイリソース

項目名	説明
操作	 を押下すると、プロセス定義詳細画面に遷移します。
リソース	デプロイ資材を展開したファイル名が表示されます。
タイプ	タイプが表示されます。タイプの種類は以下です。 resource：プロセス定義ファイル以外 processDefinition：プロセス定義ファイル

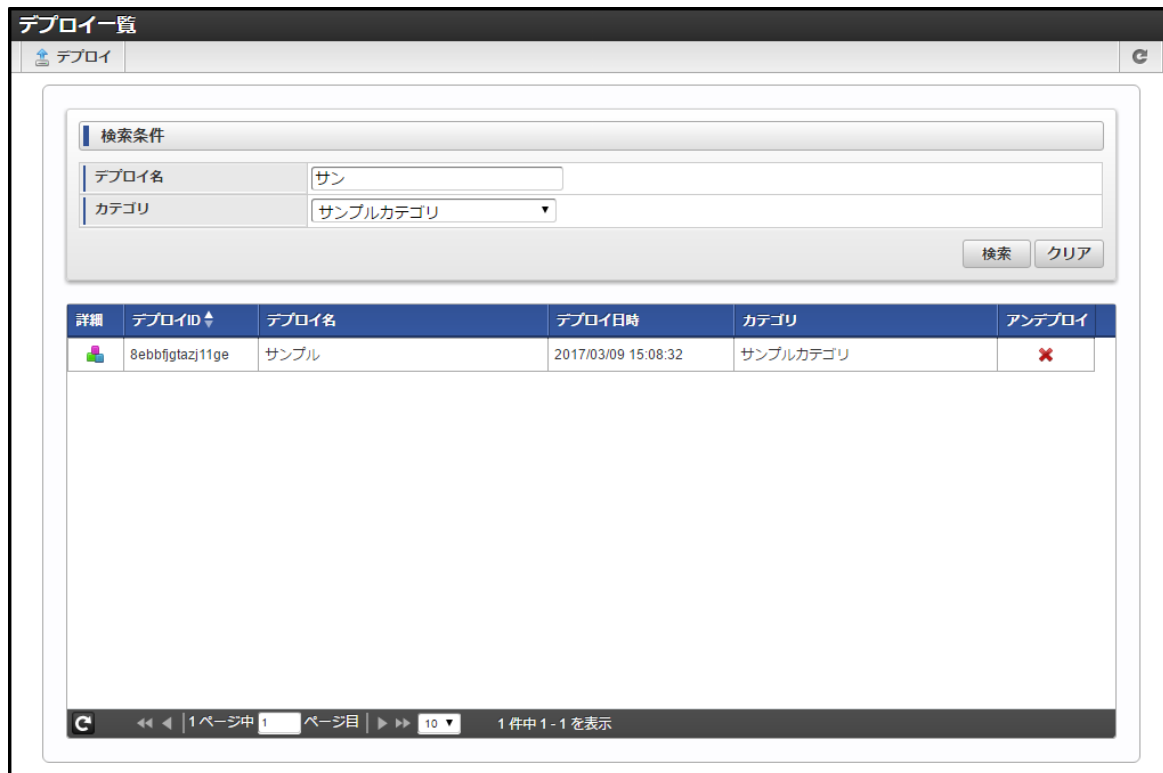
アンデプロイする

デプロイしたモジュールをアンデプロイ（削除）します。



 **注意**

アンデプロイを行うと、過去の履歴を含め現在のプロセスインスタンスの情報も全て削除されます。十分に注意して作業を行ってください。

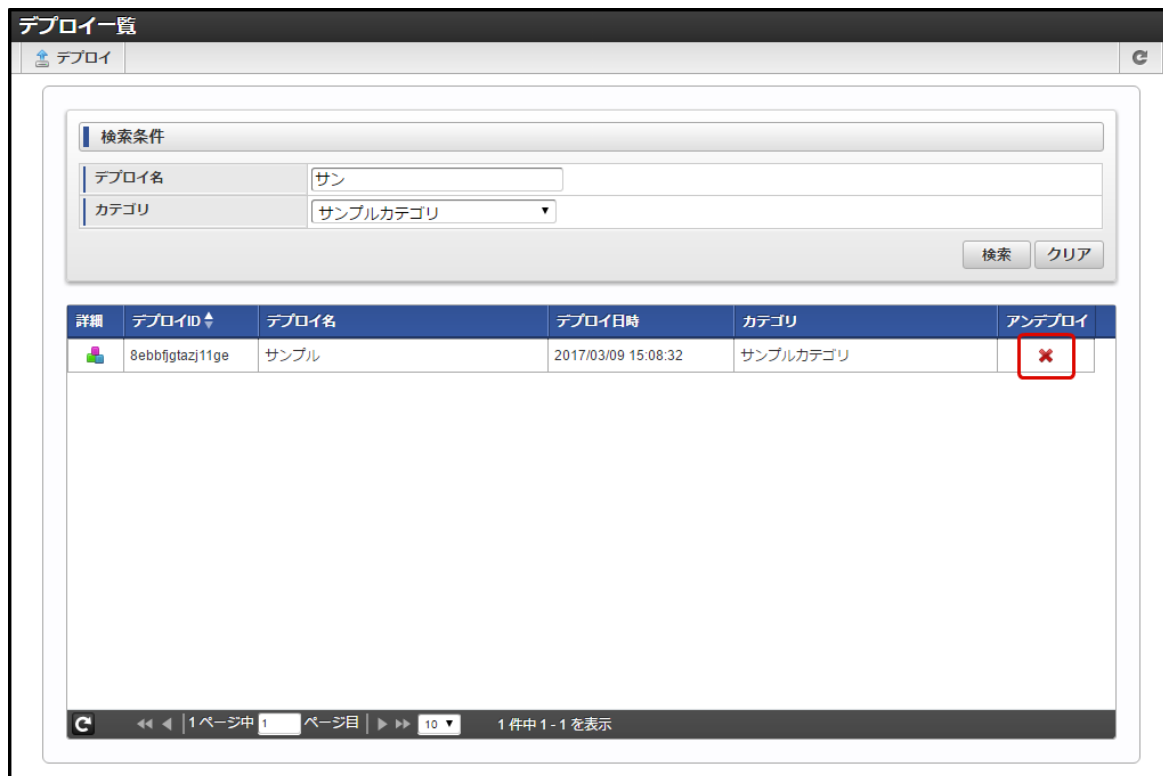
1. 「サイトマップ」→「BPM」→「デプロイ一覧」を押下します。
2. アンデプロイしたいデプロイ情報を検索します。



図：デプロイ一覧

項目名	説明	検索条件
詳細	 を押下すると、デプロイリソース画面に遷移します。	-
デプロイID	デプロイIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。	-
デプロイ名	デプロイ名が表示されます。	部分一致
デプロイ日時	デプロイした日時が表示されます。	-
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	単一選択
アンデプロイ	 を押下すると、アンデプロイします。	-

3. アンデプロイしたいデプロイ情報の  を押下します。



図：デプロイ一覧

プロセス定義を確認する

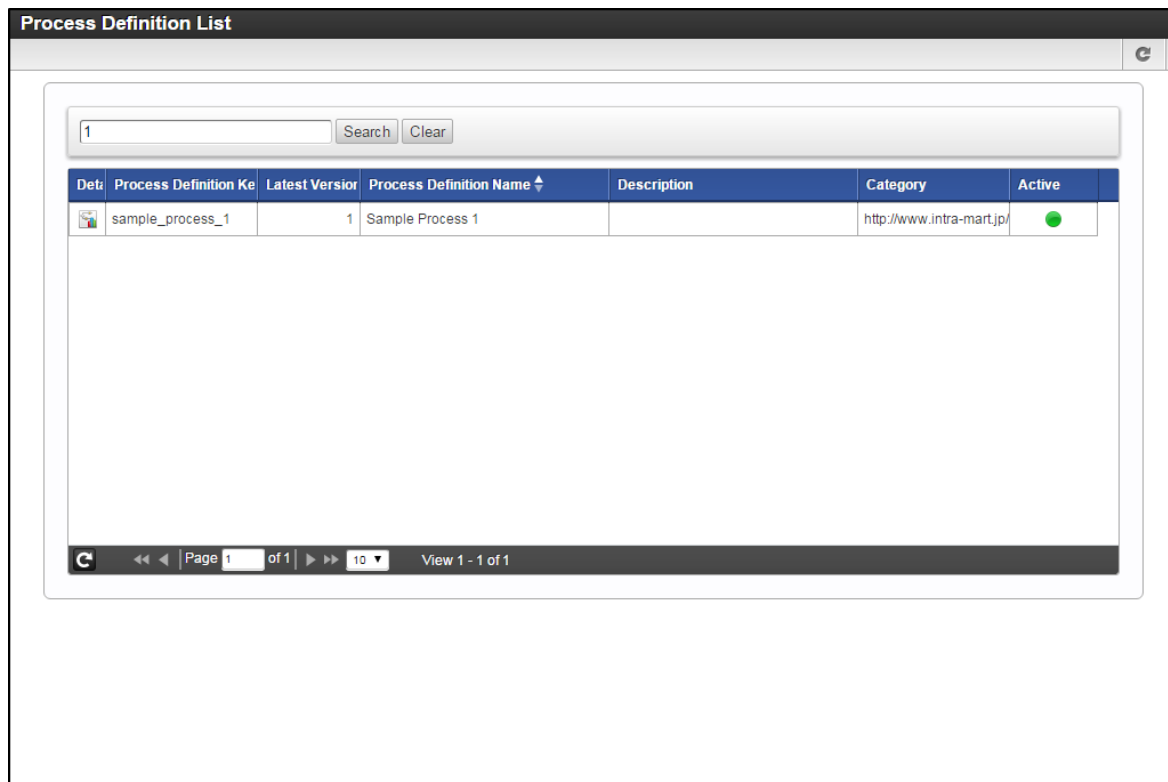
項目

- [プロセス定義一覧](#)
- [プロセス定義詳細](#)

プロセス定義一覧

プロセス定義の一覧を確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス定義一覧」を押下します。
2. プロセス定義を検索します。



図：プロセス定義一覧

項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、詳細画面に遷移します。	-
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。	-
最新バージョン	最新バージョンが表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
備考	備考が表示されます。	-
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	-
アクティブ	プロセス定義が有効か無効が表示されます。 : 有効 : 無効	-

プロセス定義詳細

プロセス定義の詳細を確認します。

プロセス定義一覧から詳細を押下することにより遷移します。

プロセス定義詳細

プロセス定義一覧 | バージョン一覧 | プロセス一括移行 | ドキュメント

プロセス定義名	DocumentProcess	プロセス定義ID	DocumentProcess:1:8ebsorcny26qge
バージョン	1	開始日時	2017/03/21 16:58:42
カテゴリ	http://www.intra-mart.jp/im_bpm	備考	

1 プロセス

実行中

▶

一覧表示

0 プロセス

障害中

⚡

一覧表示

0 プロセス

完了

✓

一覧表示

```

graph LR
    Start((Start)) --> UT1[User Task 1]
    UT1 --> UT2[User Task 2]
    UT2 --> End((End))
  
```

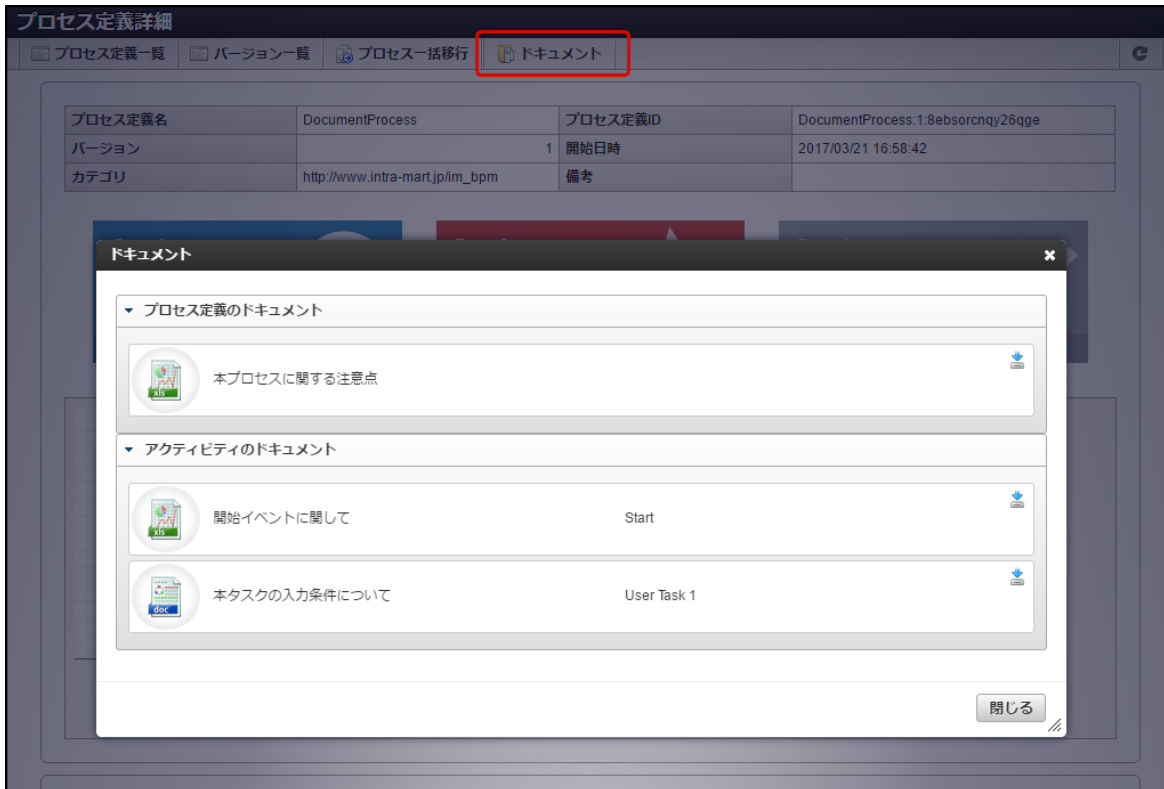
表示倍率: 100% ±

表示条件(開始年月) 2016-04 ▾

図：プロセス定義詳細

項目名	説明
ドキュメント	プロセス定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
バージョン	バージョンが表示されます。
開始日時	開始日時が表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
備考	備考が表示されます。
実行中	実行中のプロセスインスタンスの件数が表示されます。 「一覧表示」を押下すると、プロセス一覧画面へ遷移し、該当のプロセス定義を実行中で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
障害中	障害中のプロセスインスタンスの件数が表示されます。 「一覧表示」を押下すると、プロセス一覧画面へ遷移し、該当のプロセス定義を障害中で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
完了	完了したプロセスインスタンスの件数が表示されます。 「一覧表示」を押下すると、プロセス一覧画面へ遷移し、該当のプロセス定義を完了で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
プロセス図	プロセス図が表示されます。 各アクティビティの滞在している件数が表示されます。 🏠を押下すると、ホーム(初期表示位置)に移動します。 📏を押下すると、プロセス図が縮小されます。 📐を押下すると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は30%、最大値は200%です。

項目名	説明
完了プロセス数の推移	完了プロセス数の推移が表示されます。 完了したプロセス数が1年前から1ヶ月単位で表示されます。
平均処理時間の推移（プロセス）	平均処理時間の推移（プロセス）が表示されます。
平均処理時間の推移（タスク）	平均処理時間の推移（タスク）が表示されます。 全てのタスクの合算が表示されます。
平均処理時間（タスク）	平均処理時間（タスク）が表示されます。 指定した月の平均処理時間が表示されます。



図：ドキュメント

コラム

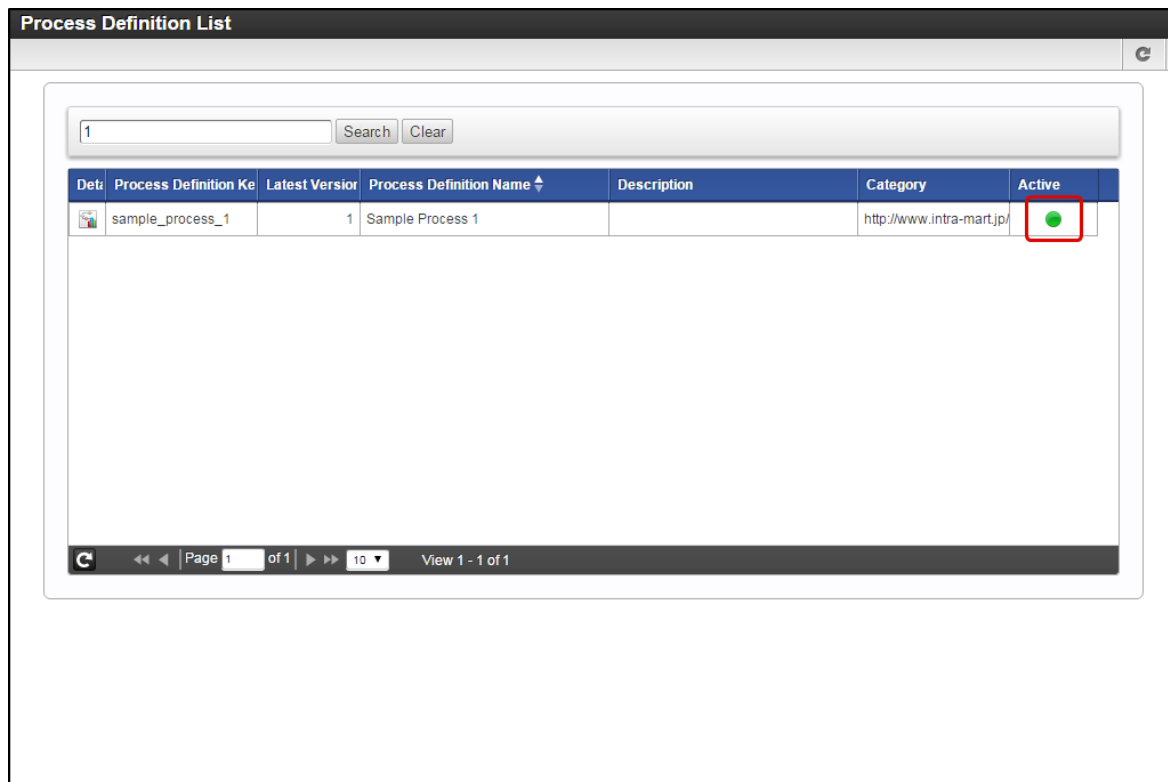
ドキュメントの設定については、「IM-BPM Designer 操作ガイド」 - 「関連ドキュメント」を参照してください。

プロセス定義の無効化


プロセス定義を無効化します。

プロセス定義を無効化するとプロセスインスタンスを開始することができなくなります。実行中のプロセスインスタンスに関しては、無効化してもプロセスを進めることが可能です。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス定義一覧」を押下します。
2. 無効化したいプロセス定義を検索します。



図：プロセス定義一覧

項目名	説明	検索条件
詳細	 を押下すると、詳細画面に遷移します。	-
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。	-
最新バージョン	最新バージョンが表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
備考	備考が表示されます。	-
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	-
アクティブ	プロセス定義が有効か無効が表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> : 有効 <input type="checkbox"/> : 無効	-

3. 無効化したいプロセス定義の を押下し、無効化します。

有効化したいプロセス定義の を押下し、有効化します。

プロセスインスタンス

ここでは IM-BPM のプロセスインスタンスの機能を紹介します。

プロセスインスタンスを確認する

項目

- プロセスインスタンス一覧
 - プロセスインスタンス一覧を確認する
 - 表示項目を変更する
- プロセスインスタンス詳細
- 障害中のサービスを再実行する

プロセスインスタンス一覧

プロセスインスタンス一覧を確認する

プロセスインスタンスの一覧を確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス一覧」を押下します。
2. プロセスインスタンスを検索します。

Detail	Business Key	Process Definition N	Process Definition ID	Process Definition K	Start Date and Time	Completion Date and Time	Status
		Sample Process 1	sample_process_1:1:1	sample_process_1	077 26, 2016 h:09:43		Under Execution
		Sample Process 1	sample_process_1:1:1	sample_process_1	077 26, 2016 h:09:50		Under Execution
		Sample Process 1	sample_process_1:1:1	sample_process_1	077 26, 2016 h:09:53		Under Execution
		Sample Process 1	sample_process_1:1:1	sample_process_1	077 26, 2016 h:09:55	077 26, 2016 h:11:03	Completed
		Sample Process 1	sample_process_1:1:1	sample_process_1	077 26, 2016 h:09:59	077 26, 2016 h:10:33	Completed

図：プロセス一覧

項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、詳細画面に遷移します。	-
業務キー	業務キーが表示されます。	完全一致
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	単一選択
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。	完全一致
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。	完全一致
開始日時	開始日時が表示されます。	範囲
完了日時	完了日時が表示されます。	範囲
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了	選択

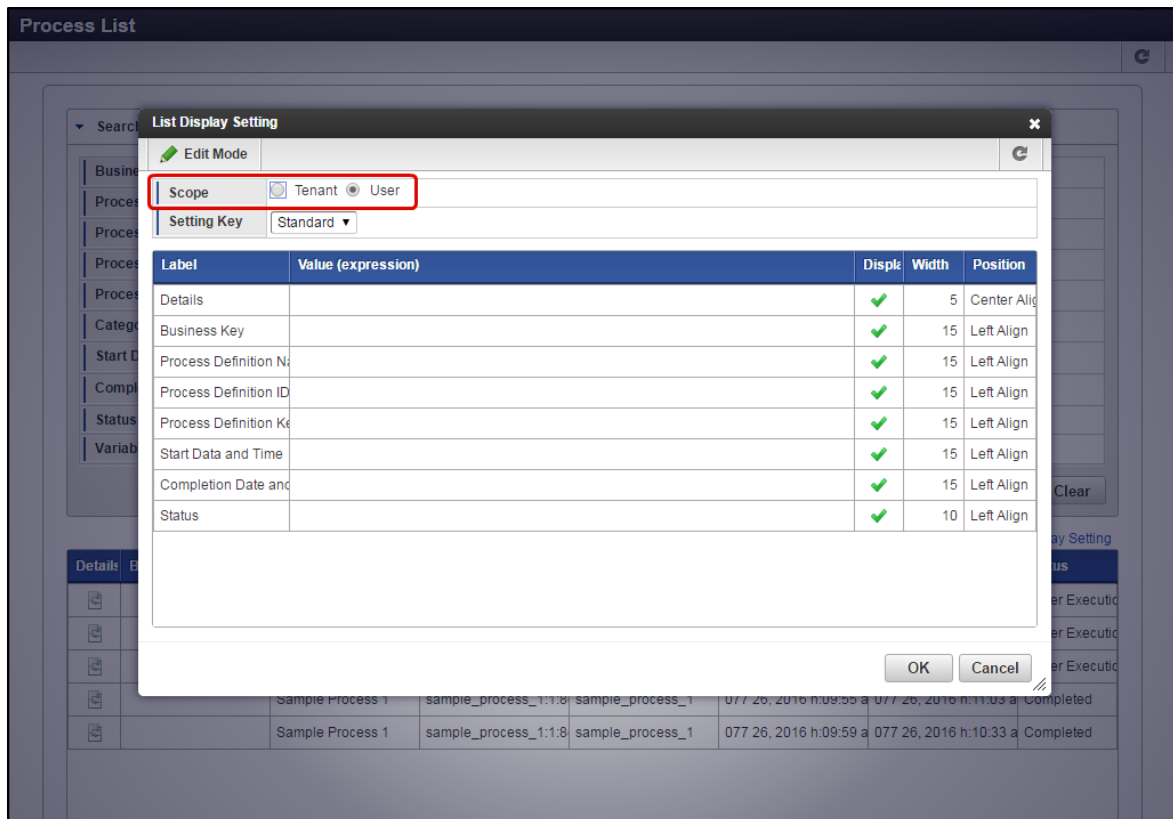
表示項目を変更する

プロセスインスタンスの一覧の表示項目を変更します。

一覧表示設定では、プロセスインスタンス一覧の表示項目の編集を行うことができます。

また、プロセスインスタンスの変数情報を表示する列を追加することもできます。

1. 一覧テーブルの右上にある「表示設定」リンクを押下します。
2. スコープ（一覧表示設定の公開範囲）を選択します。



図：一覧表示設定

項目名	説明
テナント	管理者のみ編集可能なスコープです。 このスコープで登録した設定キーは、テナント内の全ユーザが参照できます。管理者以外編集することはできません。
ユーザ	個人で編集可能なスコープです。このスコープで登録した設定キーは、他のユーザからは参照できません。

3. 設定キーで任意のキーを選択し「決定」を押下すると、選択した設定キーの一覧表示設定を反映します。表示項目を変更したい場合は、「編集モード」を押下します。



コラム

設定方法の詳細は「[グループタスクを操作する](#)」の「[表示項目を変更する](#)」を参照してください。

プロセスインスタンス詳細

プロセスインスタンスの詳細を確認します。

プロセス一覧から詳細を押下することにより遷移します。

プロセス詳細

プロセス一覧 | 変数一覧 | プロセス移行 | プロセス一括移行 | ドキュメント

プロセス定義ID	DocumentProcess:1:8ebsorcny26qge	プロセス定義名	DocumentProcess
プロセス定義キー	DocumentProcess	バージョン	1
カテゴリ	http://www.intra-mart.jp/im_bpm	業務キー	
プロセスインスタンスID	8ebvexyqigbxmge	開始ユーザ	tenant
開始日時~完了日時	2017/03/23 14:47:12 ~	ステータス	実行中

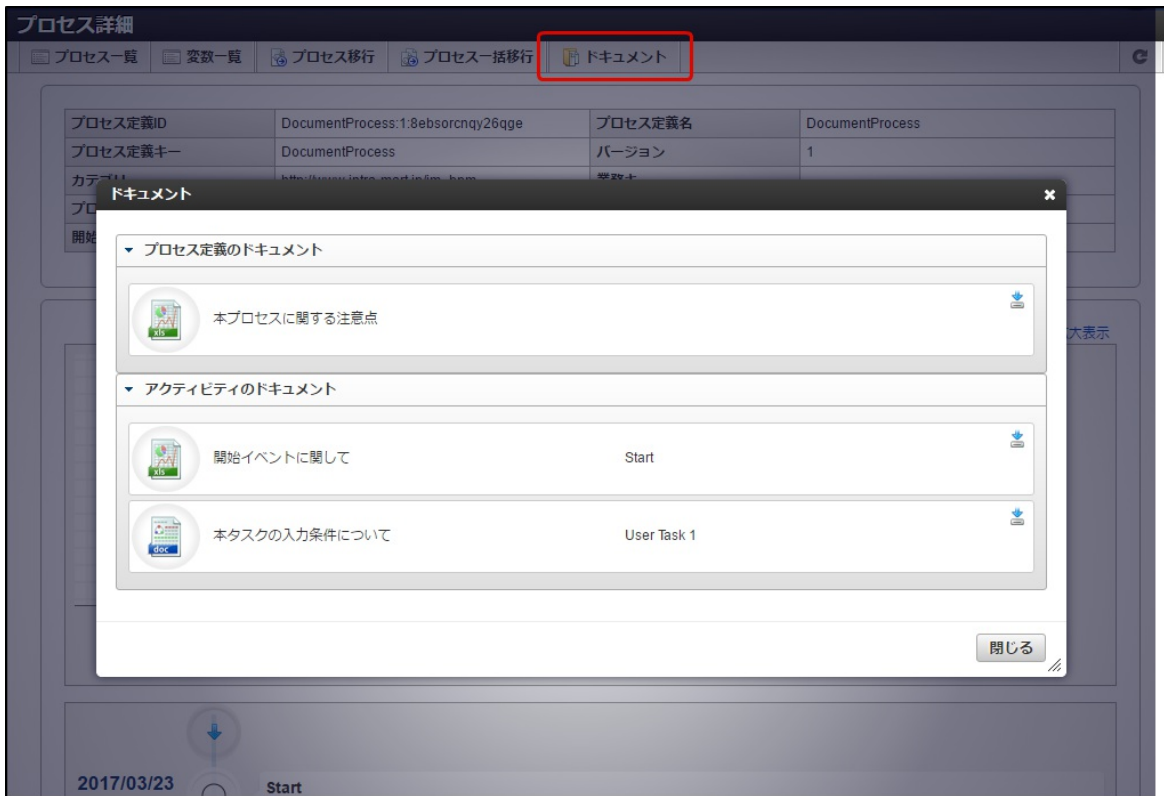
プロセス図とタイムラインを拡大表示

2017/03/23 14:47 Start

図：プロセス詳細

項目名	説明
ドキュメント	プロセス定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。
バージョン	バージョンが表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
業務キー	業務キーが表示されます。
プロセスインスタンスID	プロセスインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
開始ユーザ	プロセスを開始したユーザが表示されます。
開始日時~完了日時	開始日時~完了日時が表示されます。
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了
プロセス図とタイムラインを拡大表示	プロセス図とタイムラインが別画面で拡大表示され開かれます。
プロセス図	<p>プロセス図が表示されます。</p> <p>アクティビティに滞在している場合 が表示されます。</p> <p>アクティビティが障害中の場合 が表示されます。</p> <p> を押下すると、ホーム(初期表示位置)に移動します。</p> <p> を押下すると、プロセス図が縮小されます。</p> <p> を押下すると、プロセス図が拡大されます。</p> <p>テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は30%、最大値は200%です。</p>

項目名	説明
タイムライン	プロセスインスタンスの履歴を時系列で表示します。 詳細は「 個人タスクを操作する 」 - 「 処理の履歴を確認する 」を参照してください。




図：ドキュメント

コラム

ドキュメントの設定については、「[IM-BPM Designer 操作ガイド](#)」 - 「[関連ドキュメント](#)」を参照してください。

障害中のサービスを再実行する

プロセスインスタンスに障害中のサービスが存在する場合、プロセス詳細画面に障害中の一覧が表示されます。この一覧で  を押下すると、障害中のサービスを再実行することができます。再実行して障害が発生しなかった場合、次のアクティビティに遷移します。

Process Detail

Process List Variable List Process Migration Process Batch Migration

Process Definition ID	sampleBusinessProcess_e:1:8e6sjczexe0bpcy	Process Definition Name	Sample Business Process E
Process Definition Key	sampleBusinessProcess_e	Version	1
Category	http://www.intra-mart.jp/im_bpm	Business Key	Work 19
Process Instance ID	8e6sjdf0me0escy	Start User	tenant
Start Date ~ End Date	Oct 14, 2016 10:09:23 PM ~	Status	Under Failure

Failure List

Re-ex	Activity Name	Exception
	Do Script	problem evaluating script: jp.co.intra_mart.system.javascript.JavaScriptException: Error: foo! (scripttask1#2)

[Zoom Display Process Diagram and Timeline](#)

```

graph LR
    Start((Start)) --> DoSomething[Do Something]
    DoSomething --> DoScript[Do Script]
    DoScript --> SomethingService[Something Service]
    SomethingService --> End((End))
  
```

図：プロセス詳細

項目名	説明
再実行	を押下すると、再実行されます。
アクティビティ名	アクティビティ名が表示されます。
例外	例外内容が表示されます。

コラム

再実行時に再度障害が発生した場合は、発生原因を解消後、もう一度再実行してください。

プロセスインスタンスの変数を確認する

プロセスインスタンスの変数を確認します。
 プロセス詳細から「変数一覧」を押下することにより遷移します。
 変数の追加や削除、編集を行うこともできます。

項目

- 変数参照
- 変数操作
 - 変数を追加する
 - 変数を編集する
 - 変数を削除する

変数参照

プロセスが完了か未完了かによらず、プロセスインスタンスの変数を確認することができます。
 以下のような変数を参照できます。

- 未完了プロセス
 - プロセスのグローバル変数（スコープ：Process）
 - エグゼキュションのローカル変数（スコープ：Execution）
 - ユーザタスクのローカル変数（スコープ：Task）
- 完了プロセス

- プロセスのグローバル変数（スコープ：Process）

i コラム

スコープとは、変数の参照可能範囲を指します。
変数のスコープは以下のような参照範囲となっています。

- Process：当該のプロセス内のどこからでも参照できます。
- Execution：当該のアクティビティが実行されているエグゼキューション内からのみ参照できます。
- Task：当該のユーザタスクからのみ参照できます。

i コラム

以下のアクティビティは内部でユーザタスクを利用して動作しているため、タスクのローカル変数をもつことができます。

- ApplyTask
- DraftTask

Variable List

Process List | Process Detail

Process Definition Name	Sample Business Process 3	Version	1
Business Key	Work 3	Process Instance ID	8e6k5anwa25d6cy

Deselect

Activity ID	usertask2	Execution ID	8e6k5anwa25d6cy	Task ID	8e6lejlgib370cy
-------------	-----------	--------------	-----------------	---------	-----------------

Filtering Condition

Scope:

Variable Name:

Type: string integer long double date boolean serializable

Parent Execution + Add Variable

Scope	Variable Name	Type	Value	Edit
Process	im_operation_users	serializable		
Process	var1	string	String variable	
Process	var2	integer	123	
Process	var3	date	2016-12-01T12:34:56Z	
Process	var4	boolean	true	
Task	var5	string	Task variable String	

図：変数一覧

- プロセス図で任意のアクティビティを選択します。

アクティビティを選択しない場合、プロセスのグローバル変数を参照できます。
実行中のアクティビティのみ選択することができます。

完了したプロセスでは、アクティビティを選択することはできません。


2. エグゼキューション選択プルダウンが表示される場合、エグゼキューションを選択します。

ひとつのアクティビティに対して複数のエグゼキューションが存在する場合には表示されます。例えば、マルチインスタンスを設定したタスク等がこれに該当します。

3. 変数の一覧に対する絞込みを行います。

スコープの択一選択、変数名の部分一致、型の複数選択により絞込みが可能です。選択、および入力を確認させることで、都度絞込みが実行されます。

4. 変数の一覧を確認します。

項目名	説明
スコープ	スコープが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ Process ▪ Execution ▪ Task
変数名	変数名が表示されます。
型	変数の型が表示されます。
値	変数の値が表示されます。
編集	 を押下すると、変数更新ダイアログがポップアップします。

5. 参照しているエグゼキューションの親エグゼキューションの変数を見る場合は、**Parent Execution** リンクを押下します。

コラム

変数一覧で値を参照できる変数は、以下の6種類のデータ型のもののみです。
string, integer, long, double, date, boolean

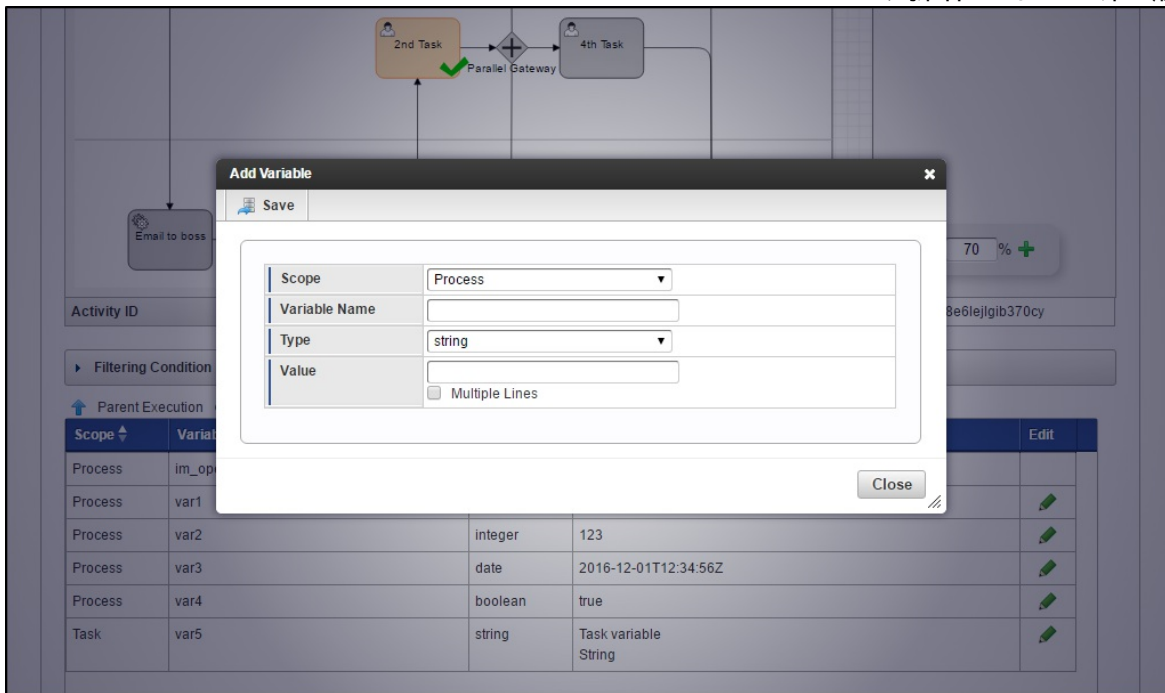
型が serializable と表示される変数については、変数値を確認することはできません。
例えばMap型やList型、配列等の値をもつ変数が serializable と表示されます。

変数操作

未完了プロセスのみ変数の追加や削除、編集を行うことができます。

変数を追加する

現在表示している変数一覧と同じスコープをもつ変数を追加できます。



図：変数追加ダイアログ

1. 「変数追加」リンクを押下します。
2. スコープを選択します。
3. 追加する変数を定義します。
 1. スコープを選択します。
 2. 変数名を同一のスコープ内で一意となるように入力します。
 3. 型を選択します。
 4. 値を入力します。
 string 型の場合、「複数行」チェックボックスのチェックをオンにすることで複数行のテキストを入力することができます。
 date 型は「ISO8601拡張形式」で入力してください。
4. 「保存」メニューを押下します。

コラム

ISO8601拡張形式

yyyy-MM-dd'T'hh:mm:ss'Z' のように日付を表現する国際規格です。

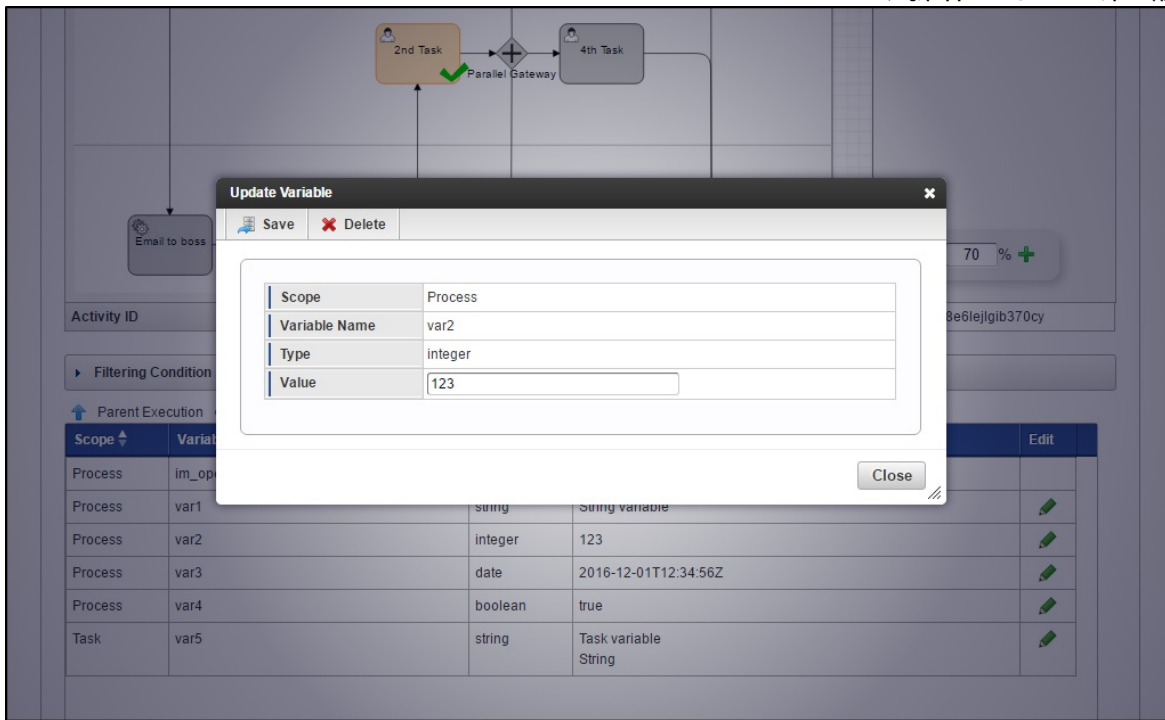
表記例

2016-12-01T12:34:56Z (末尾に Z を記述した場合、協定世界時(UTC)となります)


2016-12-01T12:34:56+09:00 (タイムゾーンはプラス記号またはマイナス記号を用いて表現します)

変数を編集する

変数値を編集することができます。
 スコープや型を変更することはできません。



図：変数更新ダイアログ

1. 変数一覧より、編集対象の変数の  を押下します。
2. 値を編集します。
3. 「保存」メニューを押下します。

コラム

以下のデータ型の変数値を編集することができます。
string, integer, long, double, date, boolean

コラム


データ型を決定せずに登録されている変数の場合、データ型を選択することができます。

注意

編集可能なデータ型の変数であれば、IM-BPMが内部的に利用している変数を含むすべての変数を編集することができます。
プロセスの実行に関わる変数値を予期しない値に変更した場合、プロセスが正常に実行できなくなる可能性があります。

変数を削除する

変数を削除することができます。
削除はデータベースレコードの削除によって行われます。論理削除ではありません。

1. 変数一覧より、削除対象の変数の  を押下します。
2. 「削除」メニューを押下します。

注意

IM-BPMが内部的に利用している変数を含む、すべての変数を削除することができます。
プロセスを実行するために必須となる変数を削除した場合、プロセスが正常に実行できなくなる可能性があります。

プロセスインスタンスのマイグレーションを行う

項目

- [マイグレーションとは](#)
- [マイグレーション](#)
- [一括マイグレーション](#)

マイグレーションとは

プロセスインスタンスのマイグレーションとは、現在の実行中の状態を移行することができる機能です。状態のみ移行します。内部で保持している変数の情報は追加および、削除は行いません。マイグレーションは同一プロセス定義のみならず、異なるプロセス定義間でも行えます。

 コラム

移行先のプロセス定義の分岐や合流が不明確な場合は、マイグレーションできない場合があります。

 注意

いくつかの制限事項があります。制限事項に関しては「[制限事項](#)」を参照してください。

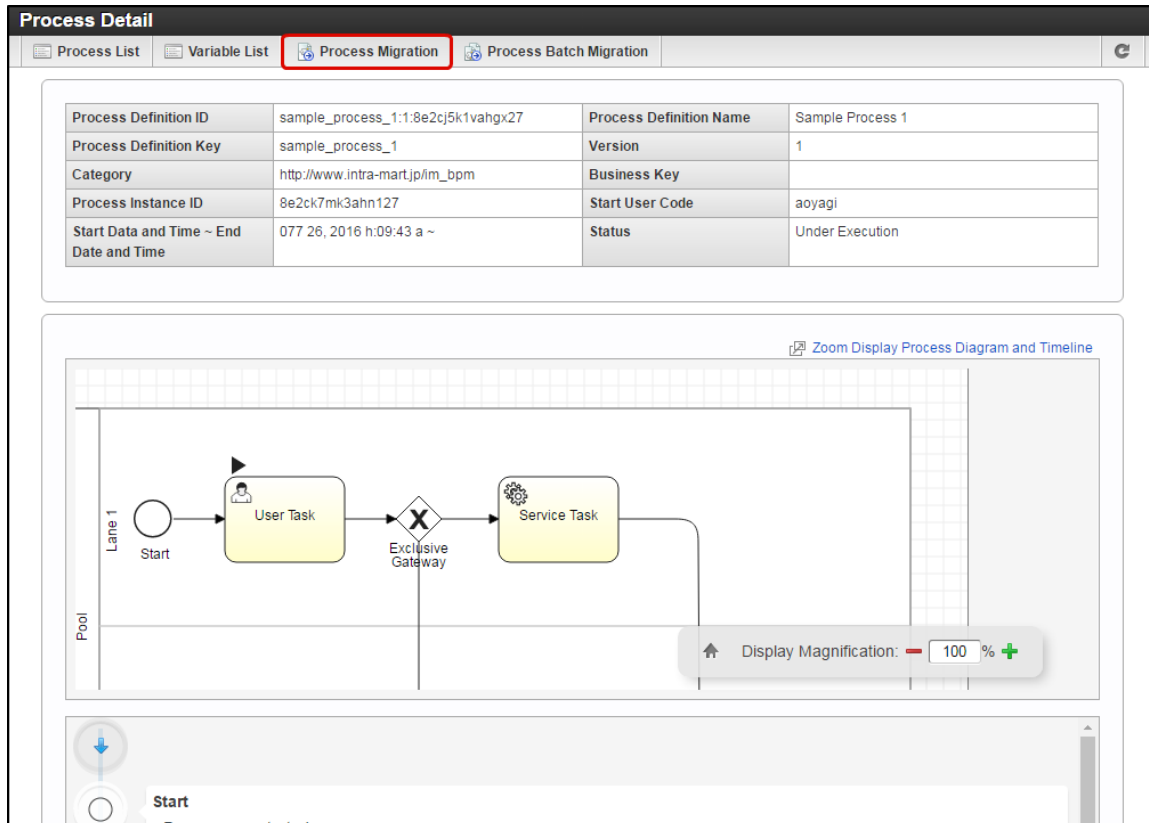
マイグレーション

マイグレーションを行います。

1. マイグレーションしたいプロセスインスタンスのプロセス詳細画面に遷移します。

プロセス詳細画面への遷移方法は、「[プロセスインスタンス詳細](#)」を参照してください。

2. 「プロセス移行」を押下します。

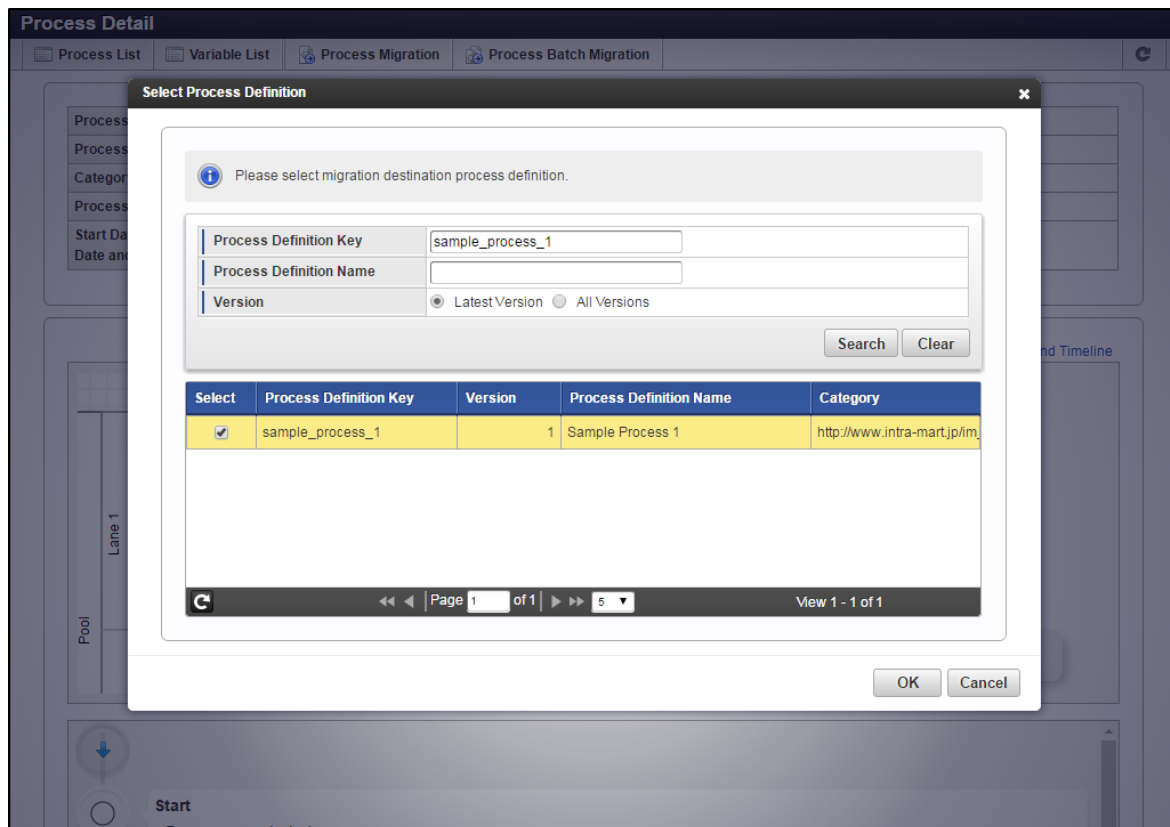


Process Definition ID	sample_process_1:1:8e2cj5k1vahgx27	Process Definition Name	Sample Process 1
Process Definition Key	sample_process_1	Version	1
Category	http://www.intra-mart.jp/im_bpm	Business Key	
Process Instance ID	8e2ck7mk3ahn127	Start User Code	aoyagi
Start Data and Time ~ End Date and Time	077 26, 2016 h:09:43 a ~	Status	Under Execution

The BPMN diagram shows a process flow starting with a 'Start' event, followed by a 'User Task', an 'Exclusive Gateway', and a 'Service Task'. The process is currently in the 'Under Execution' state.

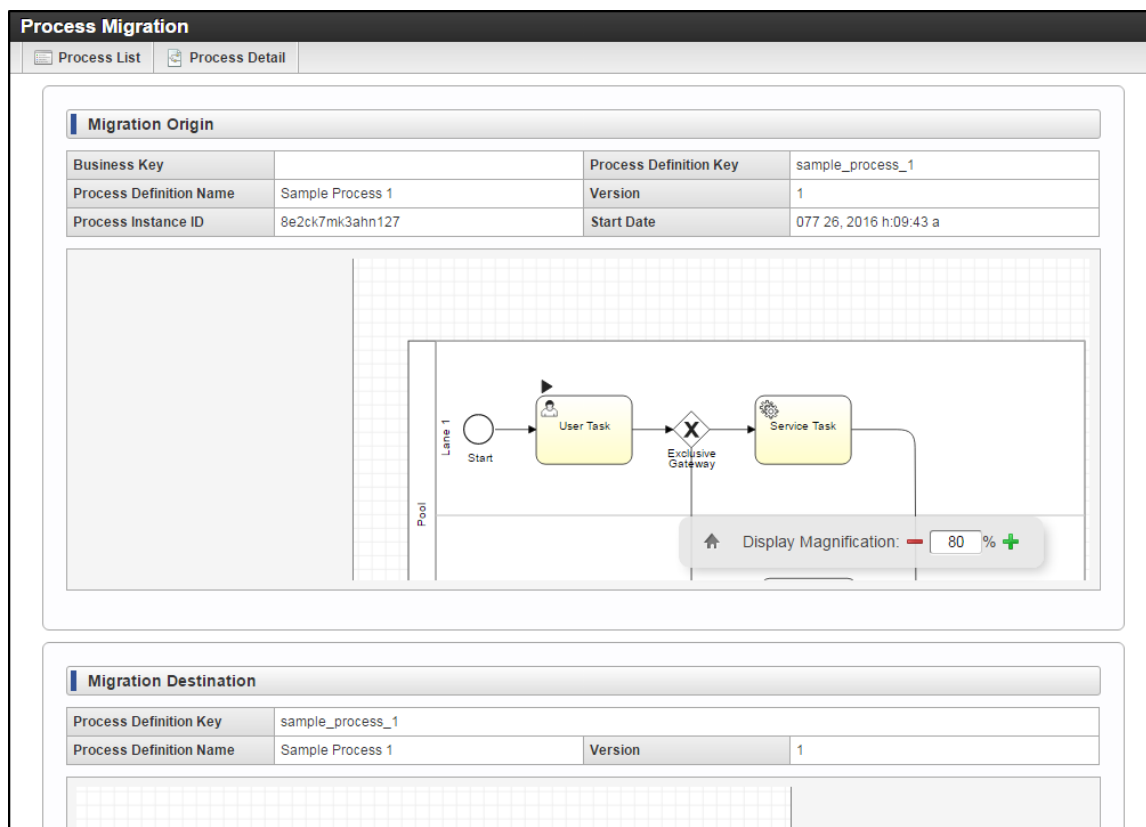
図：プロセス詳細

3. 移行先のプロセス定義を選択します。



図：プロセス定義選択

4. プロセス移行画面に遷移します。



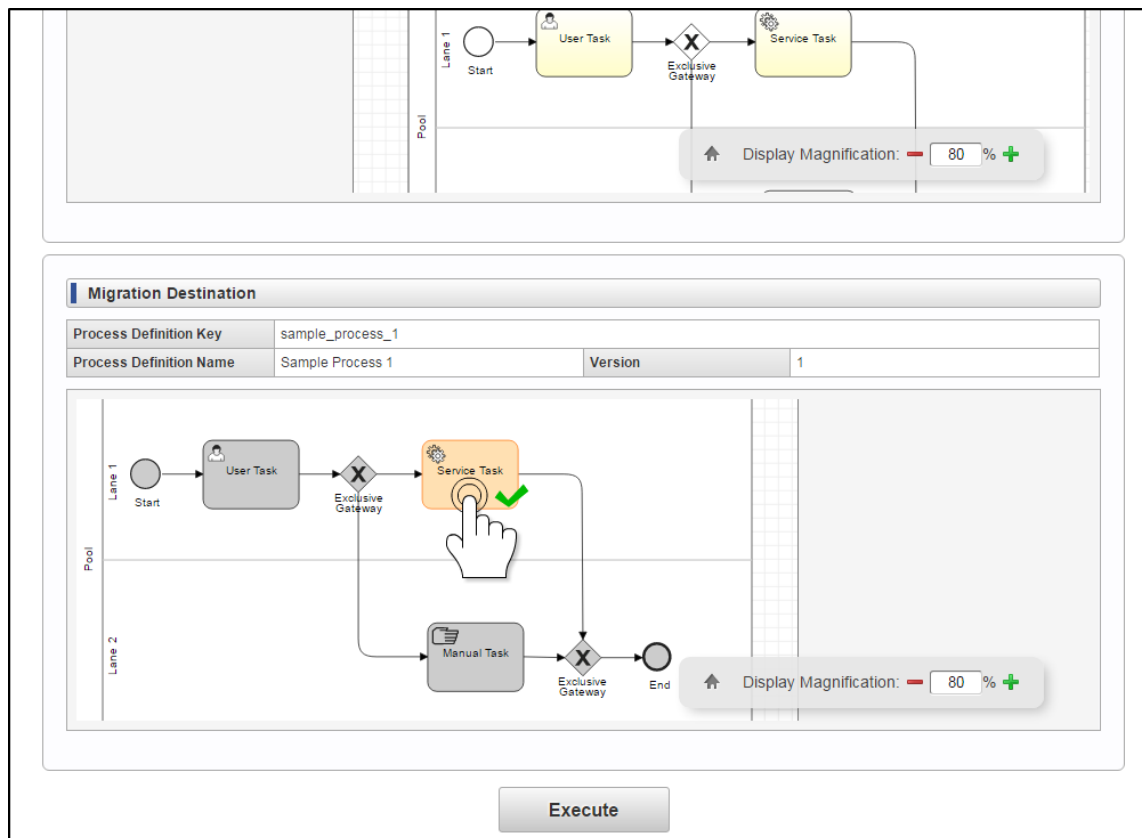
図：プロセス移行

項目名	説明
移行元の業務キー	移行元の業務キーが表示されます。
移行元のプロセス定義キー	移行元のプロセス定義キーが表示されます。

項目名	説明
移行元のプロセス定義名	移行元のプロセス定義名が表示されます。
移行元のバージョン	移行元のバージョンが表示されます。
移行元のプロセスインスタンスID	移行元のプロセスインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
移行元の開始日	移行元の開始日が表示されます。
移行元のプロセス図	<p>移行元のプロセス図が表示されます。</p> <p>アクティビティに滞在している場合  が表示されます。</p> <p>アクティビティが障害中の場合  が表示されます。</p> <p> を押下すると、ホーム(初期表示位置)に移動します。</p> <p> を押下すると、プロセス図が縮小されます。</p> <p> を押下すると、プロセス図が拡大されます。</p> <p>テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。表示倍率の最小値は30%、最大値は200%です。</p>
移行先のプロセス定義キー	移行先のプロセス定義キーが表示されます。
移行先のプロセス定義名	移行先のプロセス定義名が表示されます。
移行先のバージョン	移行先のバージョンが表示されます。
移行先のプロセス図	<p>移行先のプロセス図が表示されます。</p> <p> を押下すると、ホーム(初期表示位置)に移動します。</p> <p> を押下すると、プロセス図が縮小されます。</p> <p> を押下すると、プロセス図が拡大されます。</p> <p>テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。表示倍率の最小値は30%、最大値は200%です。</p>

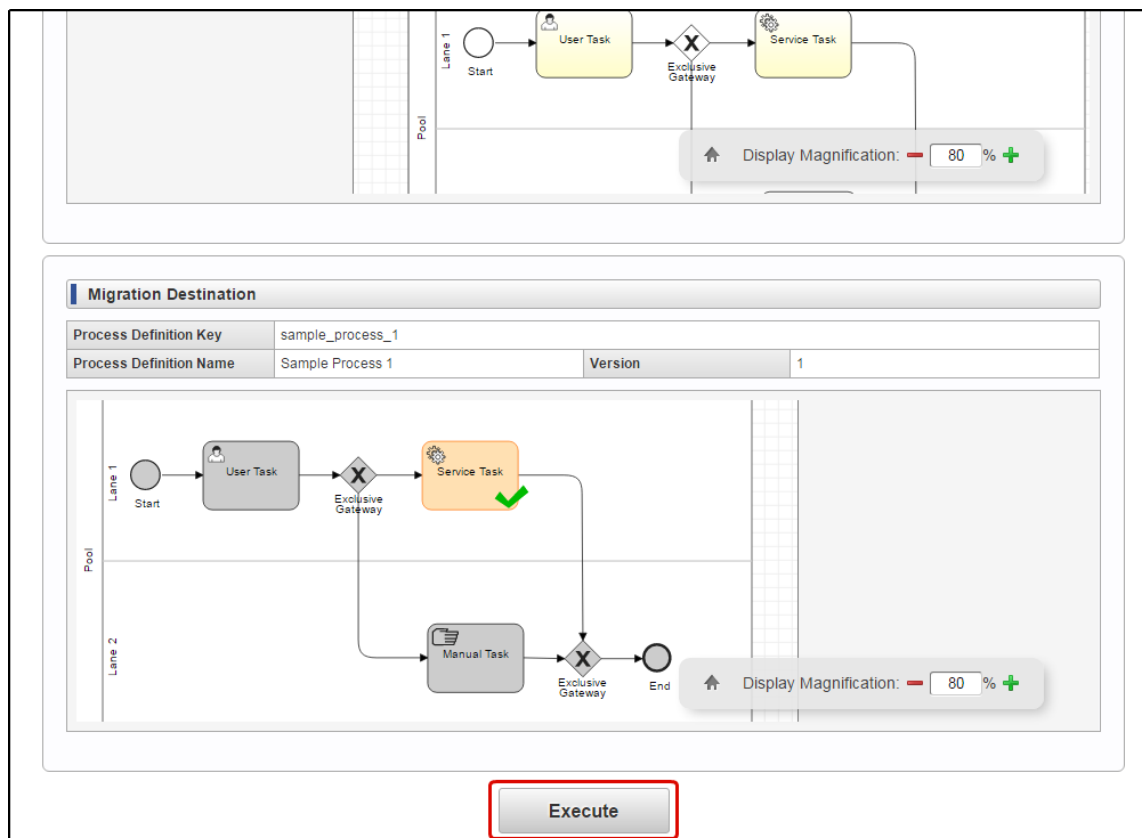
5. 移行したい移行先のプロセス図からアクティビティを選択します。

ダブルクリックで選択できます。既に選択されているアクティビティをダブルクリックすると選択を解除できます。アクティビティは複数選択することができますが、既に選択されているアクティビティによって選択できるアクティビティは限定されます。



図：プロセス移行

- 「実行」を押下します。



図：プロセス移行

一括マイグレーション


複数のプロセスインスタンスを一括でマイグレーションを行います。

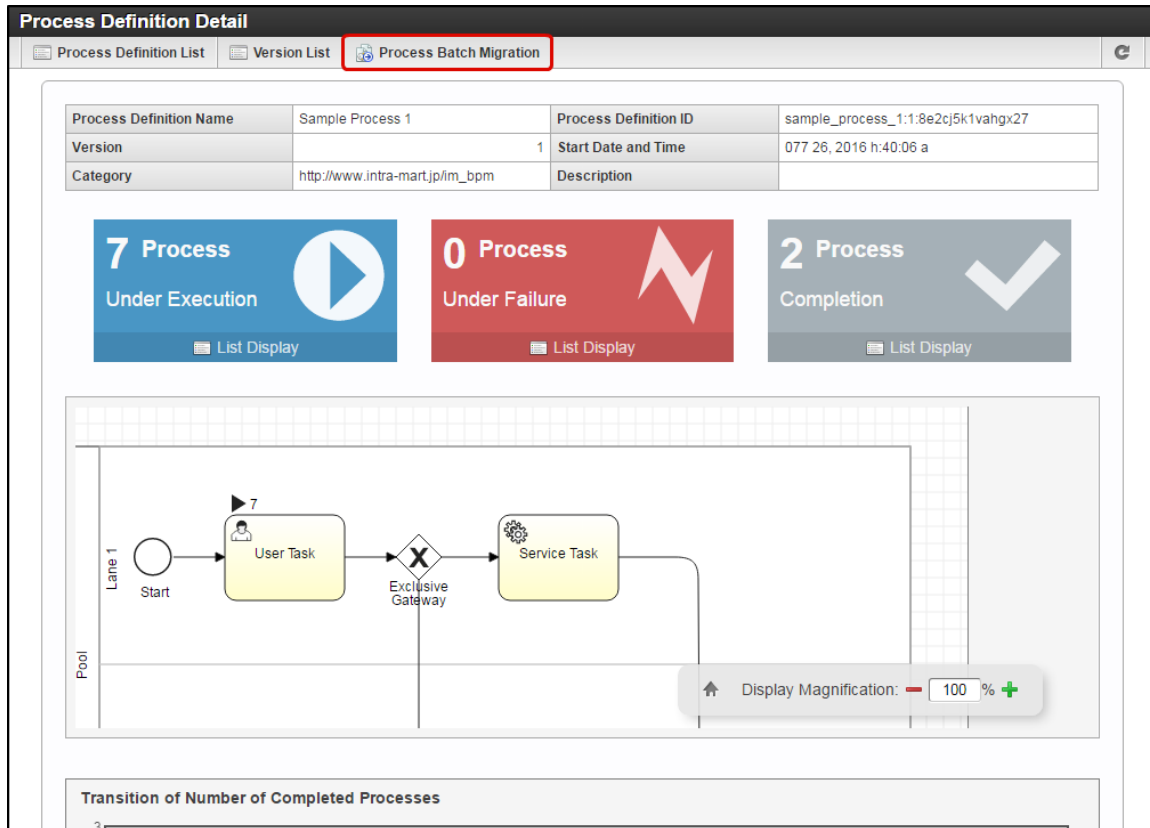
同一のプロセス定義のプロセスインスタンスを一括でマイグレーションできます。

1. マイグレーションしたいプロセス定義のプロセス定義詳細画面に遷移します。

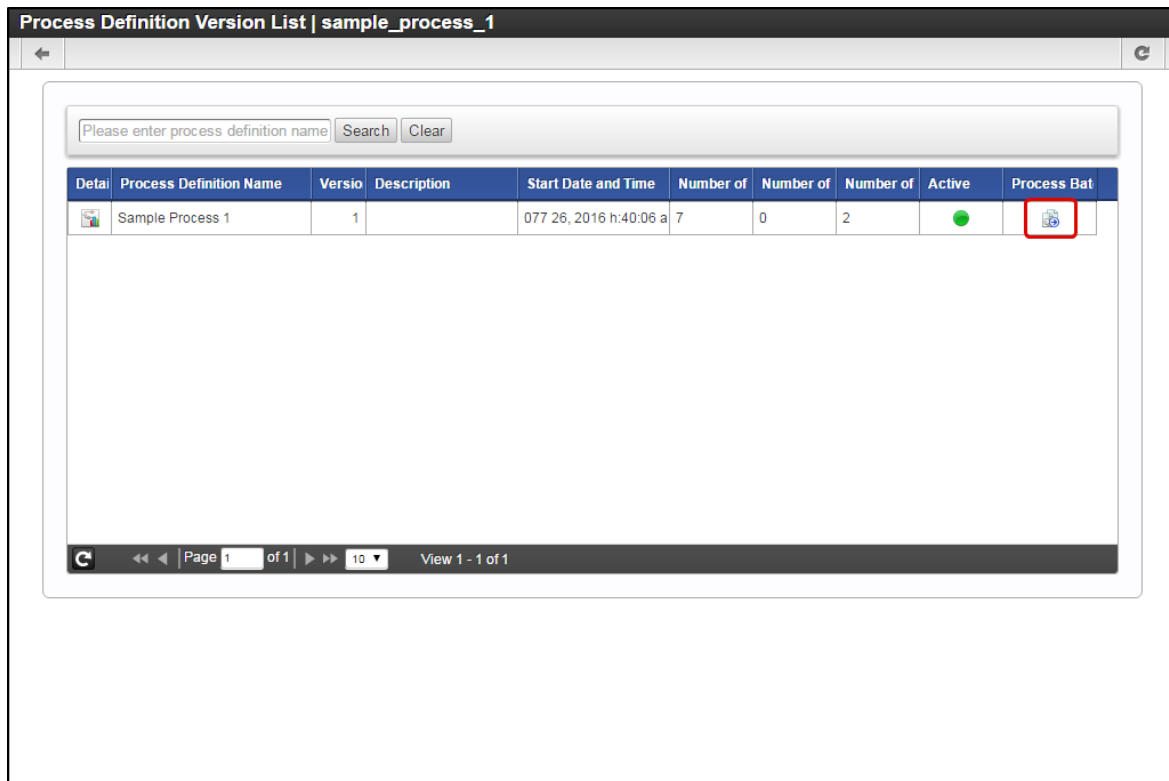
プロセス定義詳細画面への遷移方法は、「プロセス定義詳細」を参照してください。

プロセス定義バージョン一覧画面からも、バージョンを指定して一括マイグレーションを行うことができます。

2. 「プロセス一括移行」を押下します。プロセス定義バージョン一覧の場合は  を押下します。

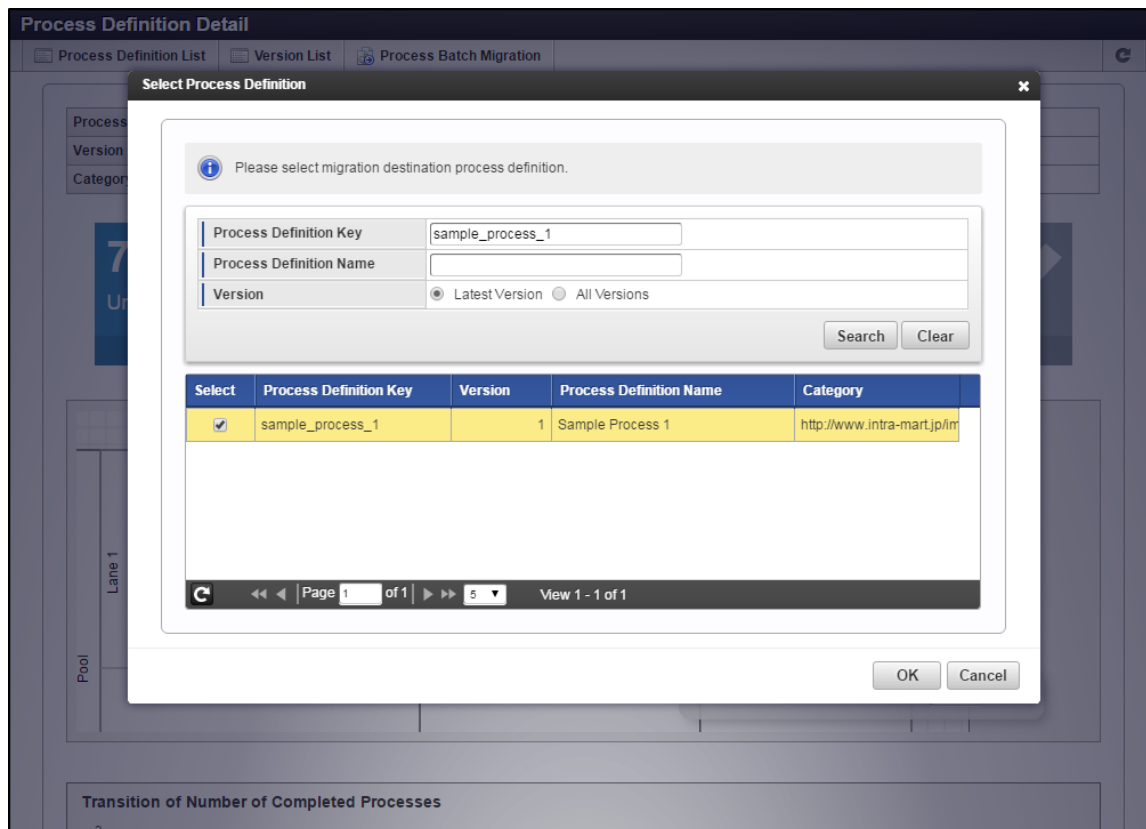


図：プロセス定義詳細



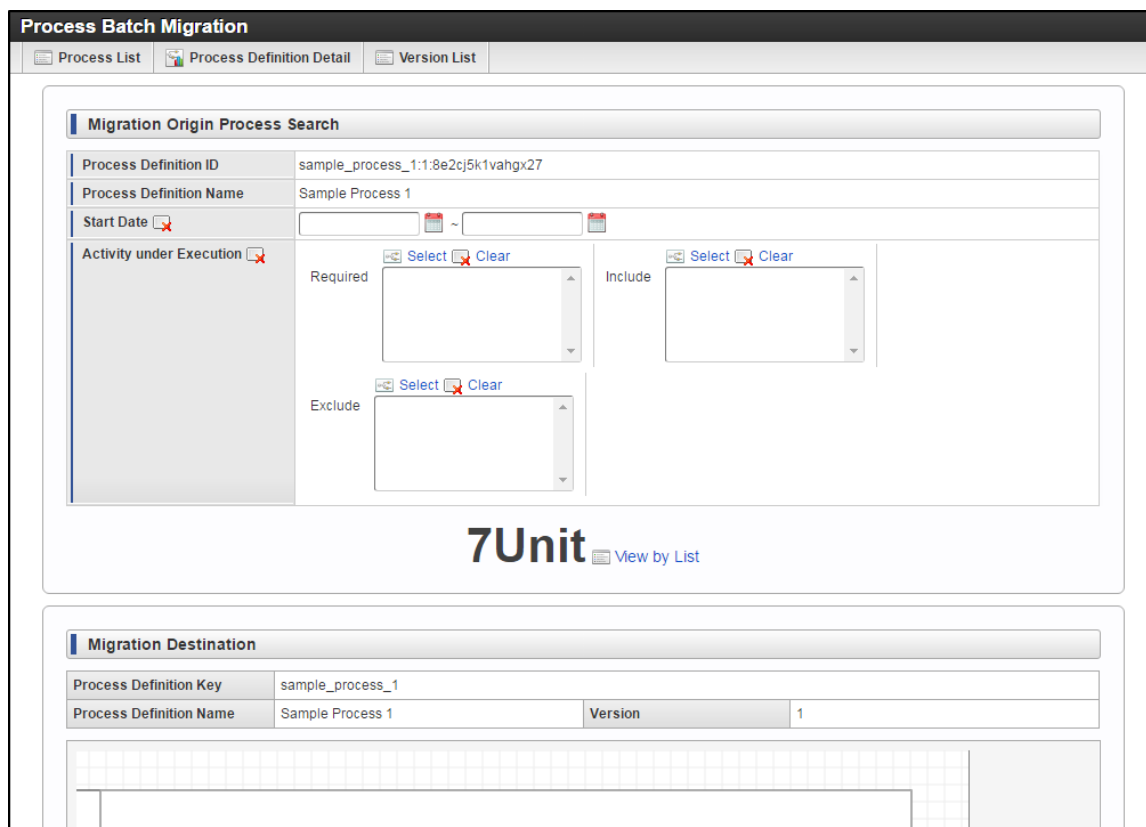
図：プロセス定義バージョン一覧

3. 移行先のプロセス定義を選択します。






図：プロセス定義選択

4. プロセス一括移行画面に遷移します。



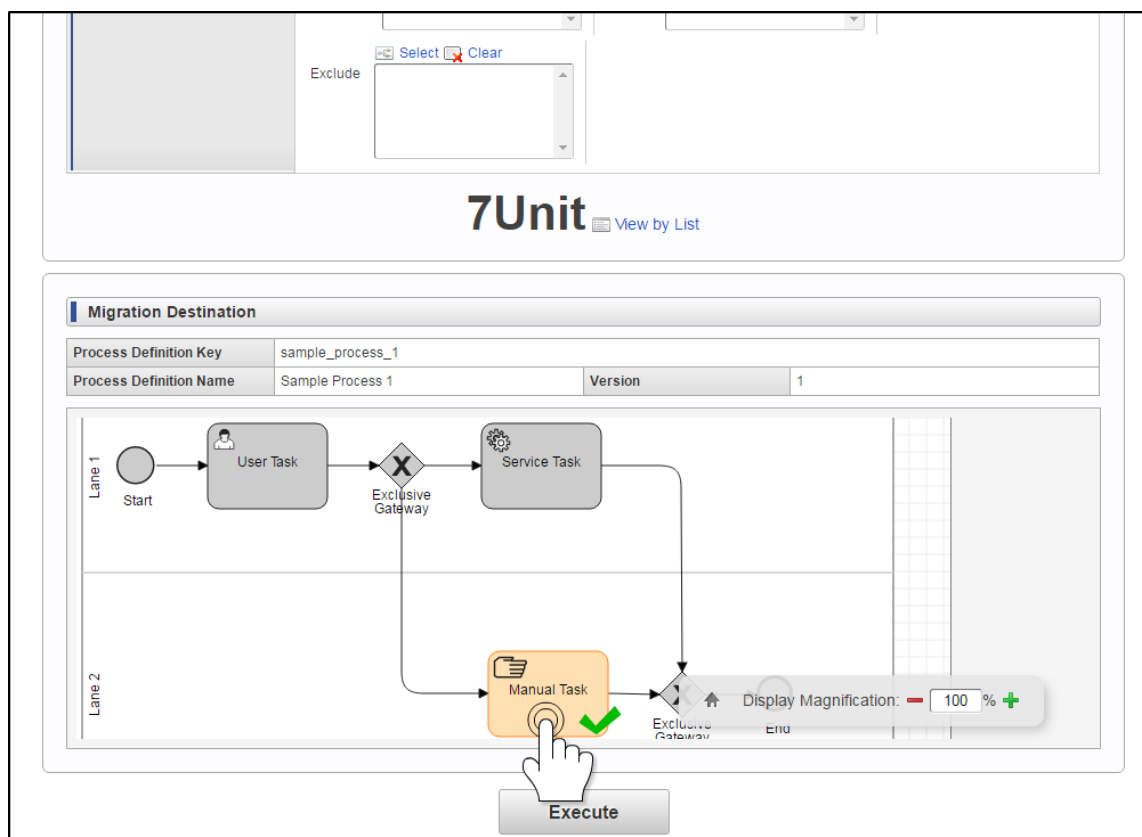
図：プロセス一括移行

項目名	説明
移行元のプロセス定義ID	移行元のプロセス定義IDが表示されます。
移行元のプロセス定義名	移行元のプロセス定義名が表示されます。

項目名	説明
移行元の開始日	移行元のプロセスインスタンスの開始日の条件を設定します。
移行元の実行中アクティビティ	移行元の実行中アクティビティの状態を設定します。 必須、含む、除外が設定できます。プロセス図を表示し設定できます。
移行元のプロセスインスタンス件数	開始日と実行中アクティビティに設定された条件でのプロセスインスタンスの件数が表示されます。
一覧で見る	開始日と実行中アクティビティに設定された条件でのプロセスインスタンスの一覧が確認できます。
移行先のプロセス定義キー	移行先のプロセス定義キーが表示されます。
移行先のプロセス定義名	移行先のプロセス定義名が表示されます。
移行先のバージョン	移行先のバージョンが表示されます。
移行先のプロセス図	移行先のプロセス図が表示されます。  を押下すると、ホーム(初期表示位置)に移動します。  を押下すると、プロセス図が縮小されます。  を押下すると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は30%、最大値は200%です。

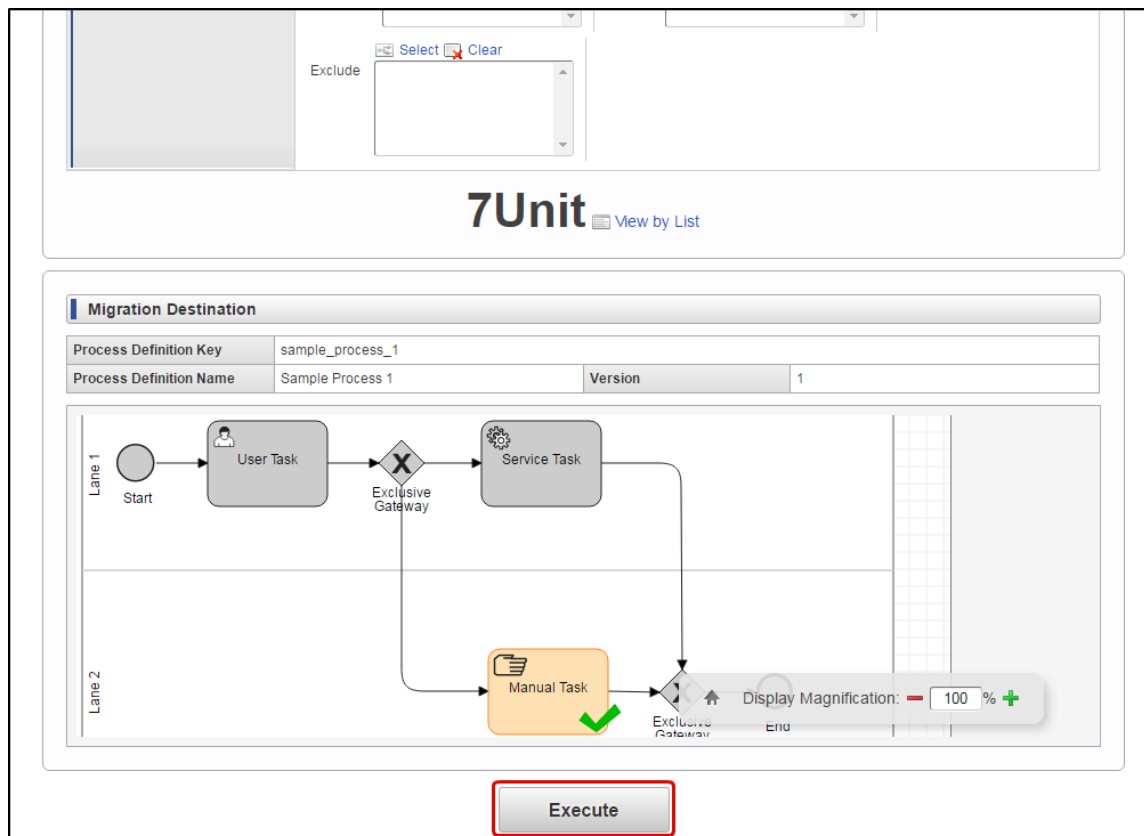
5. 移行したい移行先のプロセス図からアクティビティを選択します。

ダブルクリックで選択できます。既に選択されているアクティビティをダブルクリックすると選択を解除できます。アクティビティは複数選択することができますが、既に選択されているアクティビティによって選択できるアクティビティは限定されます。



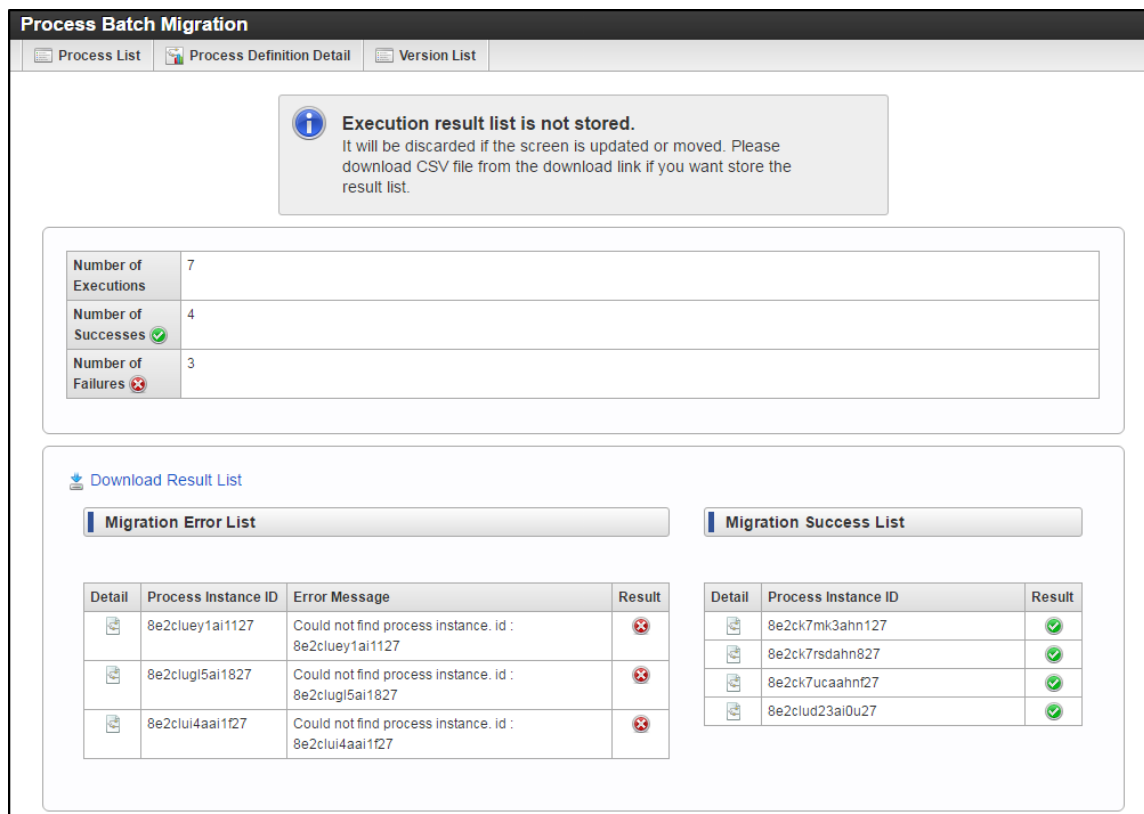
図：プロセス一括移行

6. 「実行」を押下します。





図：プロセス一括移行

7. 結果画面に遷移します。



図：プロセス一括移行結果

項目名	説明
実行数	実行数が表示されます。
成功数	成功数が表示されます。

項目名	説明
失敗数	失敗数が表示されます。
結果一覧をダウンロード	結果一覧をCSV形式でダウンロードします。
移行エラー一覧 詳細	 を押下すると、プロセスインスタンス詳細画面へ遷移します。
移行エラー一覧 プロセスインスタンスID	エラーになったプロセスインスタンスIDが表示されます。
移行エラー一覧 エラーメッセージ	エラーメッセージが表示されます。
移行エラー一覧 結果	結果が表示されます。
移行成功一覧 詳細	 を押下すると、プロセスインスタンス詳細画面へ遷移します。
移行成功一覧 プロセスインスタンスID	プロセスインスタンスIDが表示されます。
移行成功一覧 結果	結果が表示されます。

タスク

ここでは IM-BPMの管理者によるタスクに関する機能を紹介します。

タスクを管理する

プロセス定義の権限やタスクの権限に関わらず操作できる機能です。

項目

- [タスクの一覧を確認する](#)
- [表示項目を変更する](#)
- [担当者を割り振る](#)

タスクの一覧を確認する

タスクの一覧を確認します。

現在未完了のタスクが一覧の対象です。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク管理」を押下します。
2. タスクを検索します。

タスク管理

振り分け

検索条件

プロセス定義名

業務キー

カテゴリ

タスク名

優先度 ~




担当者 未割り当て

作成日時 ~

詳細	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	担当者	作成日時	ドキュメント	操作
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ1	User Task 1	50	tenant	2017/03/21 17:00	<input type="button" value="📄"/>	<input type="button" value="👤"/>
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ1	User Task 1	50		2017/03/21 17:00	<input type="button" value="📄"/>	<input type="button" value="👤"/>
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ1	User Task 1	50		2017/03/21 17:00	<input type="button" value="📄"/>	<input type="button" value="👤"/>
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ2	User Task 2	50	tenant	2017/03/21 16:50	<input type="button" value="📄"/>	<input type="button" value="👤"/>

1 ページ中 1 ページ目 | 10 | 4 件中 1 - 4 を表示

図：タスク管理

項目名	説明	検索条件
詳細	 を押下すると、プロセスインスタンスの詳細画面が開きます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
担当者	担当者名が表示されます。	未割り当てが選択されている場合、未割り当てのタスクのみ検索します。 未割り当てが選択されている場合、担当の設定は反映されません。 完全一致
作成日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
ドキュメント	プロセス定義および、ユーザタスクのドキュメントが表示されます。	-
操作	各タスクの状況により、動作が異なります。  : 自分を担当にする  : 担当を外す	-

表示項目を変更する

タスクの一覧の表示項目を変更します。



コラム

設定方法の詳細は「グループタスクを操作する」の「表示項目を変更する」を参照してください。

担当者を割り振る

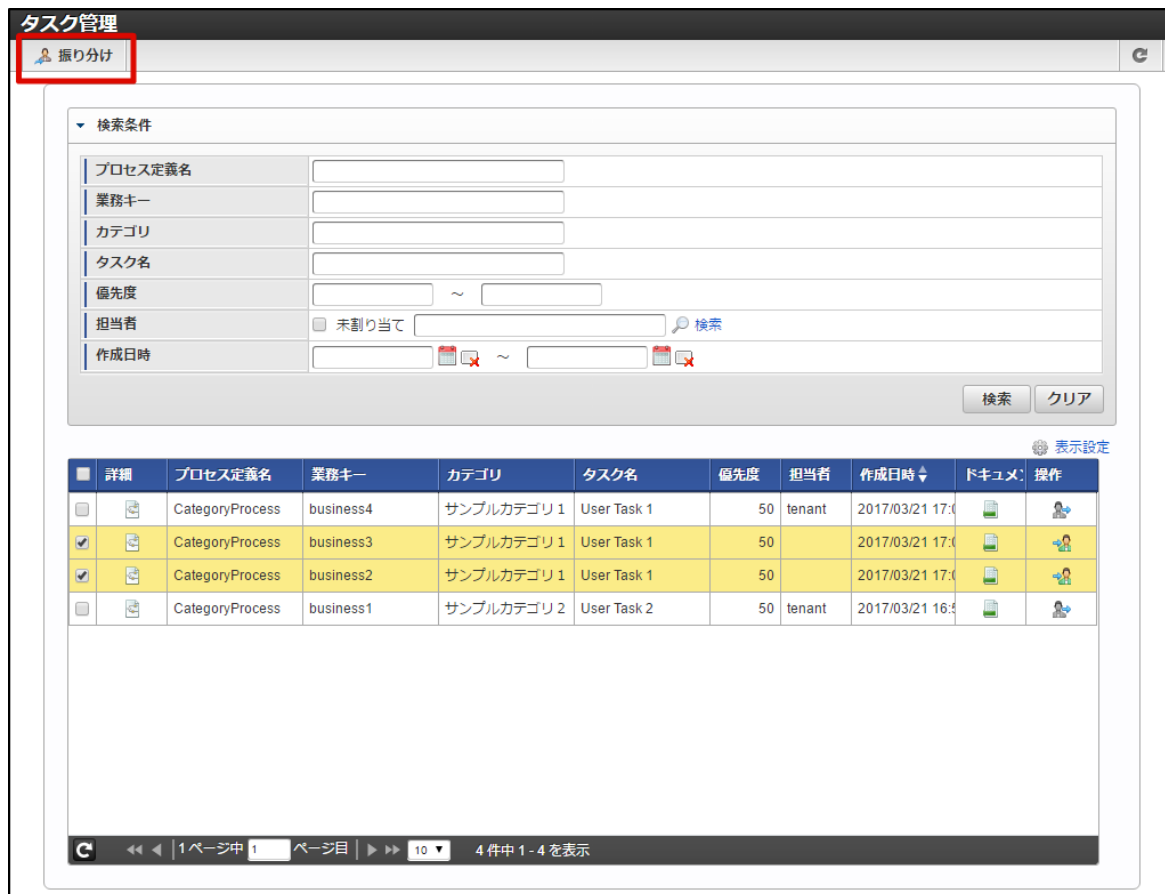
グループタスクに分類されているユーザタスクの担当にユーザを指定します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク管理」を押下します。
2. 担当にしたいグループタスクを検索します。
3. 担当にしたいグループタスクを選択します。複数選択可能です。個人タスクを選択している場合、「振り分け」の押下時にエラーが発生します。

詳細	プロセス定義名	業務キー	カテゴリ	タスク名	優先度	担当者	作成日時	ドキュメント	操作
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business4	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	tenant	2017/03/21 17:00		
<input checked="" type="checkbox"/>	CategoryProcess	business3	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	tenant	2017/03/21 17:00		
<input checked="" type="checkbox"/>	CategoryProcess	business2	サンプルカテゴリ 1	User Task 1	50	tenant	2017/03/21 17:00		
<input type="checkbox"/>	CategoryProcess	business1	サンプルカテゴリ 2	User Task 2	50	tenant	2017/03/21 16:00		

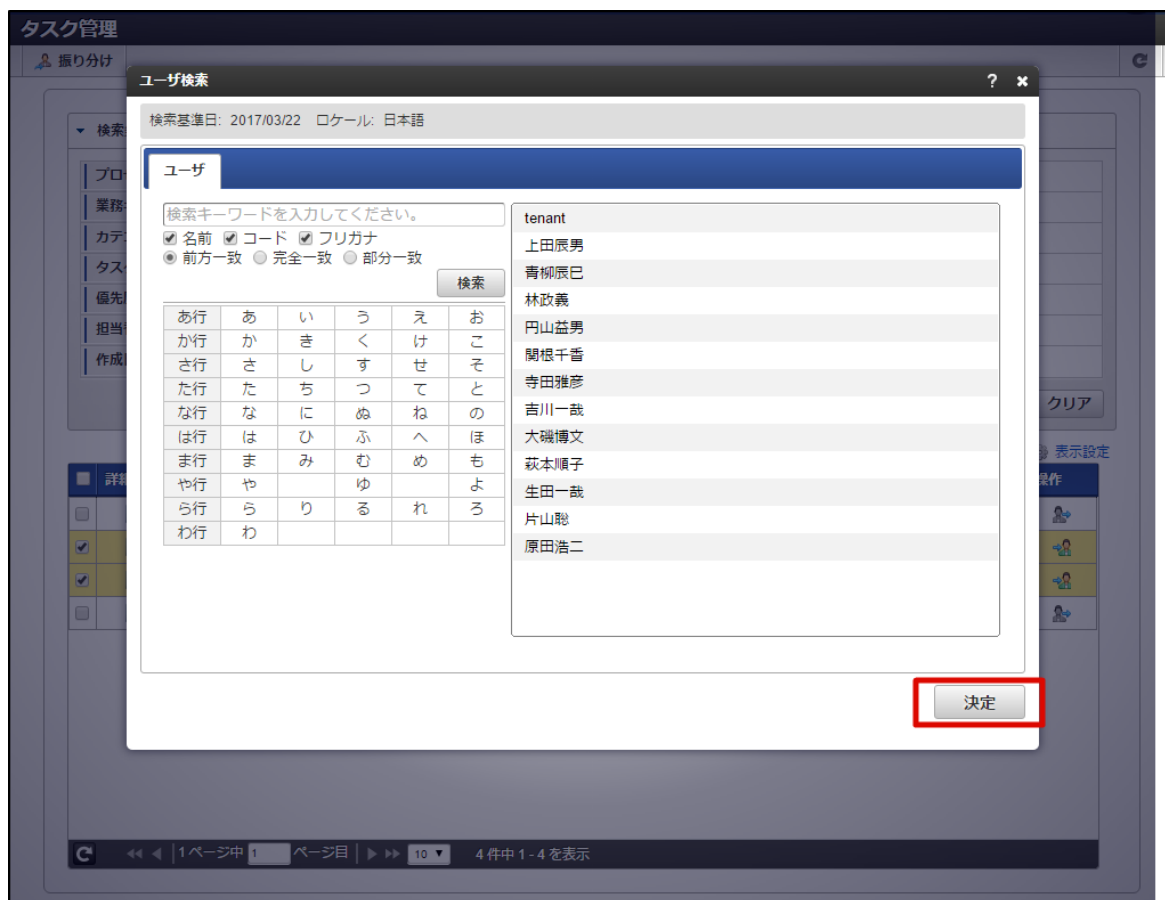
図：タスク管理

4. 「振り分け」を押下します。



図：タスク管理

5. ユーザを検索して、決定を押下します。



図：ユーザ検索

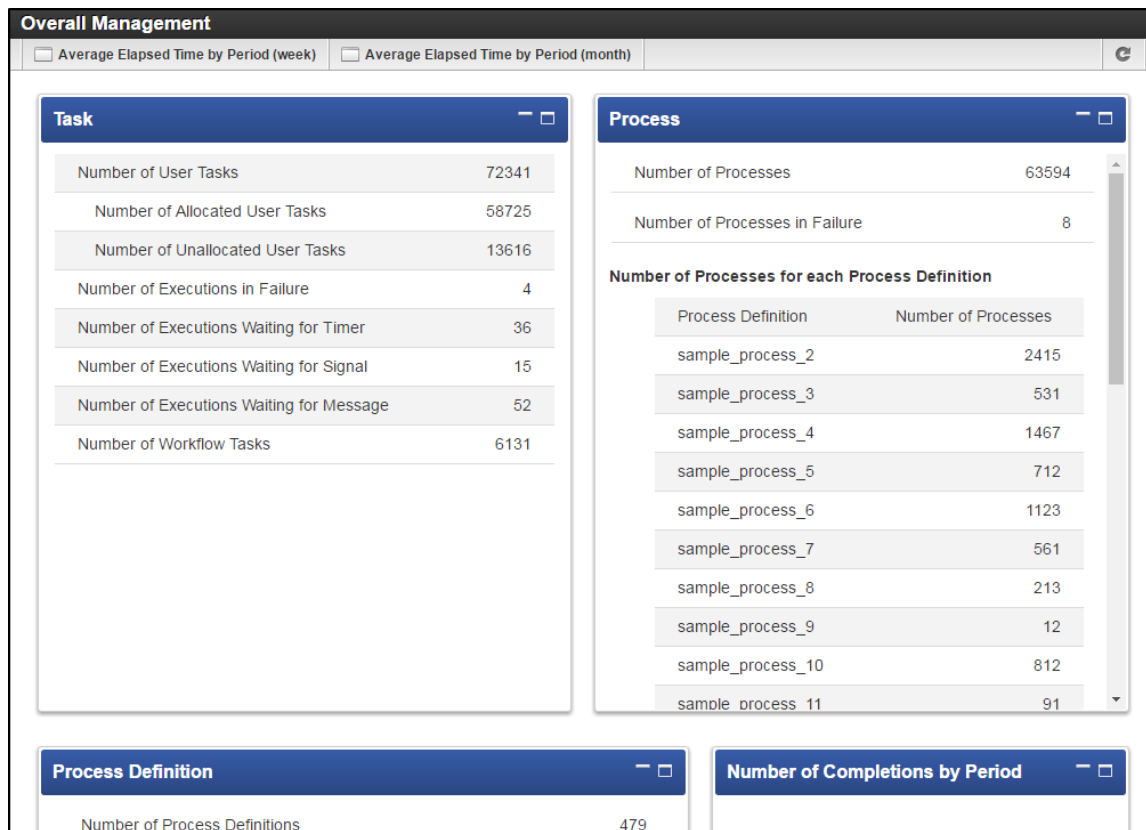
BAM

ここでは IM-BPM for Accel Platform のBAMの機能を紹介します。

全体管理画面

全体の状況を管理する画面です。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「全体管理」を押下します。



図：全体管理画面

- タスク

項目名	説明
ユーザタスク数	ユーザタスク数が表示されます。
割当済ユーザタスク数	割当済のユーザタスク数が表示されます。
未割当ユーザタスク数	未割当のユーザタスク数が表示されます。
障害中の実行数	障害中の実行数が表示されます。
集約待ち実行数	集約待ち実行数が表示されます。
タイマー待ち実行数	タイマー待ち実行数が表示されます。
シグナル待ち実行数	シグナル待ち実行数が表示されます。
メッセージ待ち実行数	メッセージ待ち実行数が表示されます。
Workflowタスク数	Workflowタスク数が表示されます。

- プロセス

項目名	説明
プロセス数	プロセスインスタンス数が表示されます。

項目名	説明
障害中のプロセス数	障害中のプロセスインスタンス数が表示されます。
プロセス定義毎のプロセス数	プロセス定義毎のプロセス定義名とプロセスインスタンス数が表示されます。

- プロセス定義

項目名	説明
プロセス定義数	プロセス定義数が表示されます。
カテゴリ毎のプロセス定義数	カテゴリ毎のプロセス定義数カテゴリとプロセス定義数が表示されます。

- 期間別・開始完了数

項目名	説明
開始されたプロセス数	開始されたプロセスインスタンス数が、本日・1週間・1ヶ月の期間別で表示されます。
完了されたプロセス数	完了されたプロセスインスタンス数が、本日・1週間・1ヶ月の期間別で表示されます。
開始されたユーザタスク数	開始されたユーザタスク数が、本日・1週間・1ヶ月の期間別で表示されます。
完了されたユーザタスク数	完了されたユーザタスク数が、本日・1週間・1ヶ月の期間別で表示されます。

- 期間別・平均経過時間（週）

項目名	説明
1週間で完了されたプロセスの平均経過時間	1週間で完了されたプロセスインスタンスのプロセス定義と経過時間（平均）とプロセスインスタンス数が表示されます。

- 期間別・平均経過時間（月）

項目名	説明
1ヶ月で完了されたプロセスの平均経過時間	1ヶ月で完了されたプロセスインスタンスのプロセス定義と経過時間（平均）とプロセスインスタンス数が表示されます。

Elasticsearch、Kibana連携

連携の方法については、「[IM-BPM 仕様書](#)」 - 「[Elasticsearch、Kibana連携](#)」を参照してください。

ポートレット管理

IM-BPMのポートレットは、以下の設定を行うことができます。

コラム

ポートレットの設定方法については、「[ポータル 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

項目

- [個人タスクポートレット](#)

個人タスクポートレット

個人タスクポートレットは、ページ引数に一覧表示設定の設定キーや検索条件を設定することで、表示項目の変更やタスクの絞り込みを行うことができます。

図：ポートレット編集

ページ引数に設定するパラメータについては、以下の通りです。

項目名	キー	検索条件
一覧表示設定の設定キー	retains%5Bcondition%5D%5BviewId%5D	-
プロセス定義名	retains%5Bcondition%5D%5BprocessDefinitionNameLike%5D	部分一致
業務キー	retains%5Bcondition%5D%5BprocessInstanceBusinessKeyLike%5D	部分一致
カテゴリ	retains%5Bcondition%5D%5BtaskCategory%5D	完全一致
タスク名	retains%5Bcondition%5D%5BnameLike%5D	部分一致
優先度 (最小)	retains%5Bcondition%5D%5BminimumPriority%5D	範囲
優先度 (最大)	retains%5Bcondition%5D%5BmaximumPriority%5D	範囲
作成日時 (以降)	retains%5Bcondition%5D%5BcreatedAfter%5D	範囲
作成日時 (以前)	retains%5Bcondition%5D%5BcreatedBefore%5D	範囲

i コラム

ページ引数の設定値は、個人タスク一覧画面で実際に検索条件を入力して検索を行い、ブラウザのアドレスバーに表示されたURLのパラメータ部分を利用することができます。

「ページ引数」の入力例

- 【例】一覧表示キー「foo」、プロセス定義名（部分一致）「bar」、カテゴリ（完全一致）「baz」のタスクをポートレットに表示させたい場合は、以下のように設定します。

```
retains%5Bcondition%5D%5BviewId%5D=foo&retains%5Bcondition%5D%5BprocessDefinitionNameLike%5D
```

インポート/エクスポート

ここでは IM-BPMの管理者によるインポート/エクスポートに関する機能を説明します。

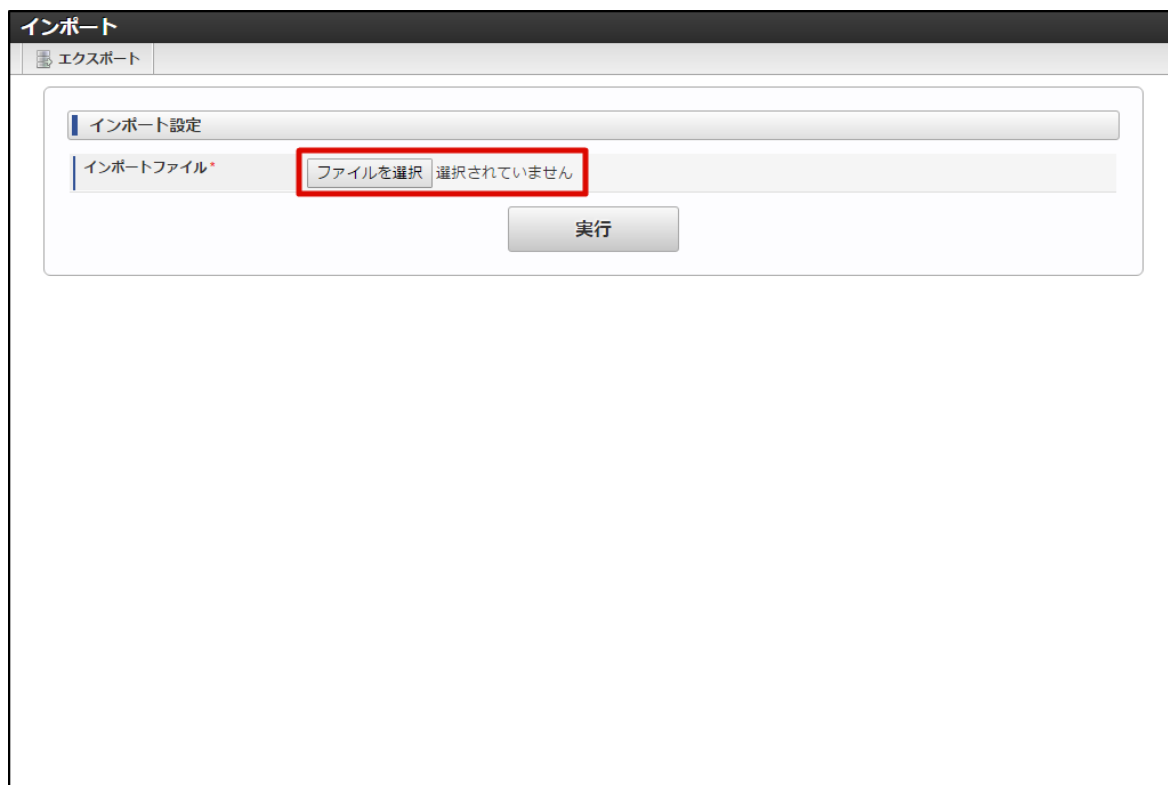
インポート

項目

- インポートを行う

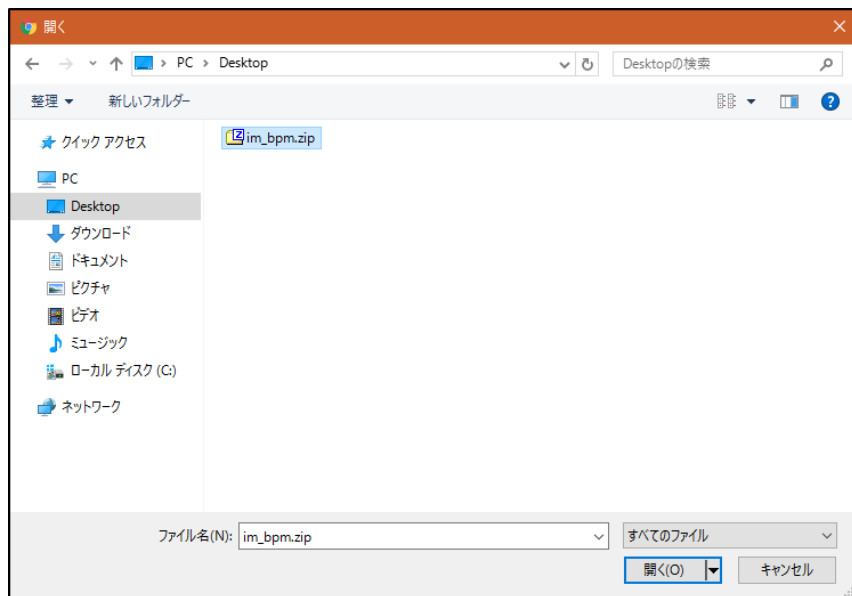
インポートを行う

- 「サイトマップ」 - 「BPM」 - 「インポート」を押下し、「インポート」画面を表示します。
- 「ファイル選択」ボタンを押下し、ファイル選択ダイアログを開きます。



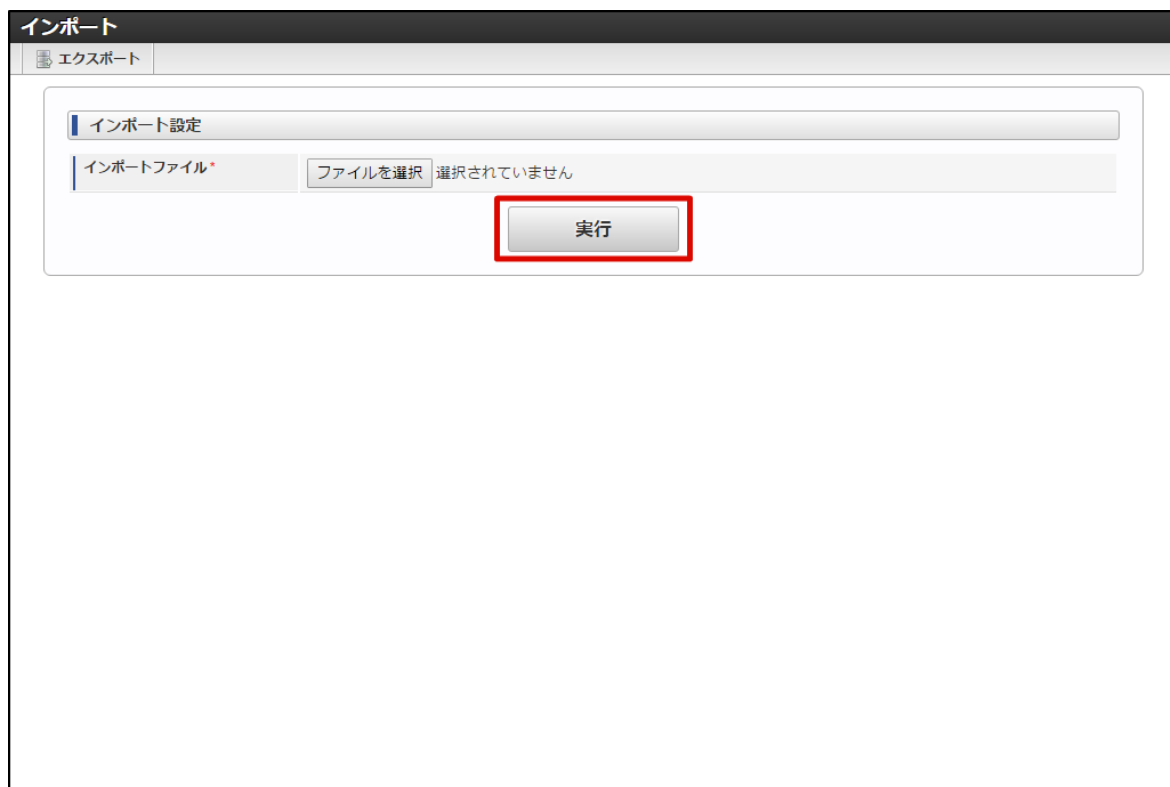
図：インポート画面

- ダイアログから、インポートする資材を選択し、「開く」ボタンを押下します。



図：ファイル選択ダイアログ

4. 「実行」ボタンを押下し、インポート処理を実行します。



図：インポート画面 - 実行

エクスポート

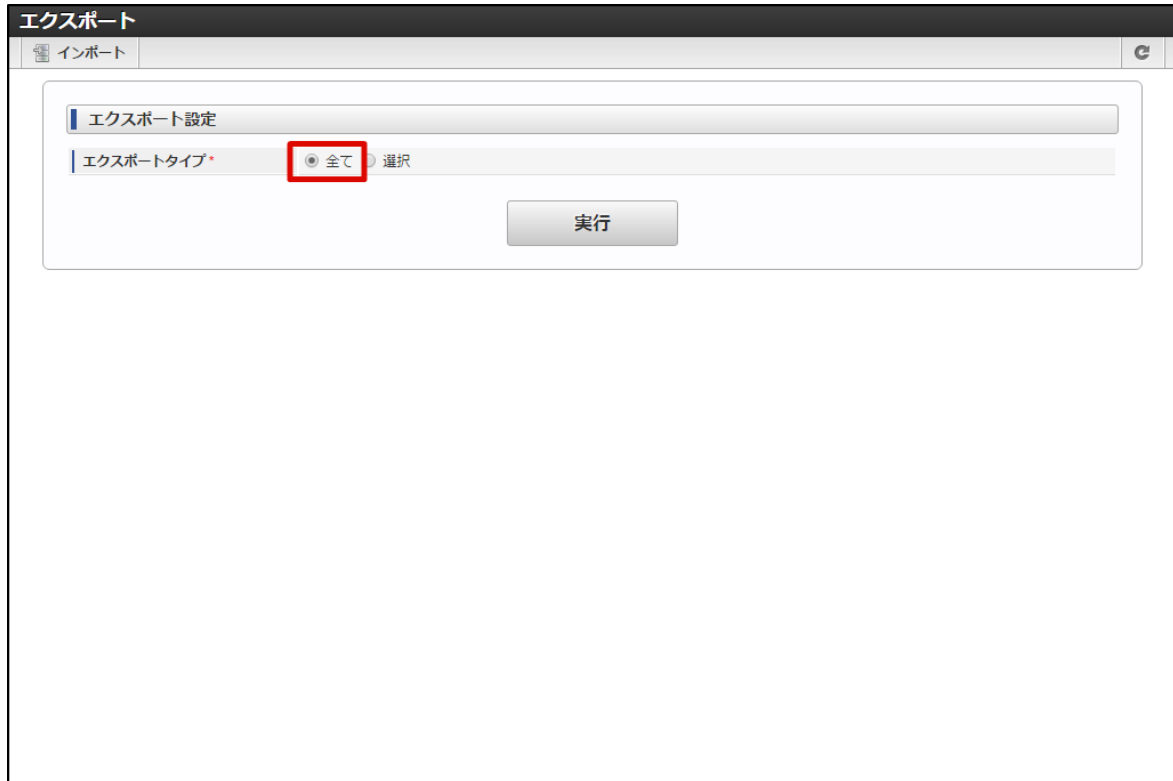
項目

- すべてのデータをエクスポートする
- 指定のデータをエクスポートする
- エクスポートするデプロイメントの内容を確認する

すべてのデータをエクスポートする

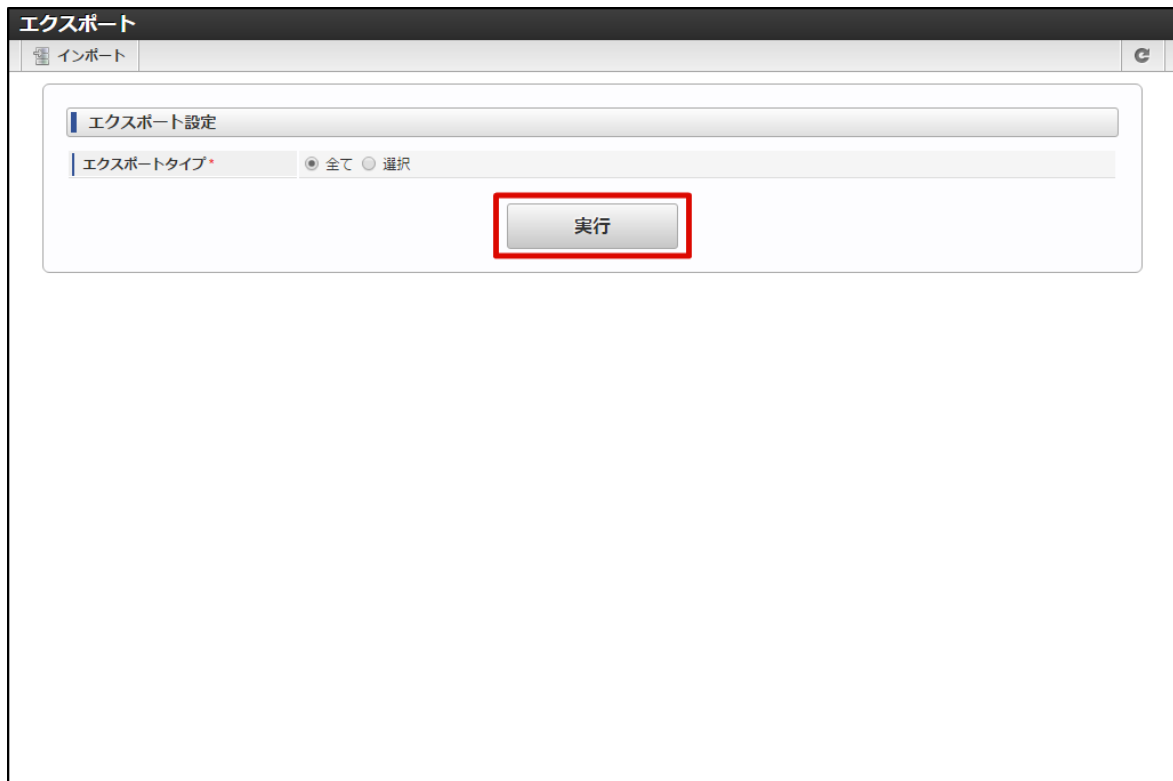
1. 「サイトマップ」 - 「BPM」 - 「エクスポート」を押下し、「エクスポート」画面を表示します。

2. エクスポートタイプのラジオボタン「全て」にチェックが入っていることを確認します。



図：エクスポート画面

3. 「実行」ボタンを押下し、エクスポートを実行します。



図：エクスポート画面 - 実行

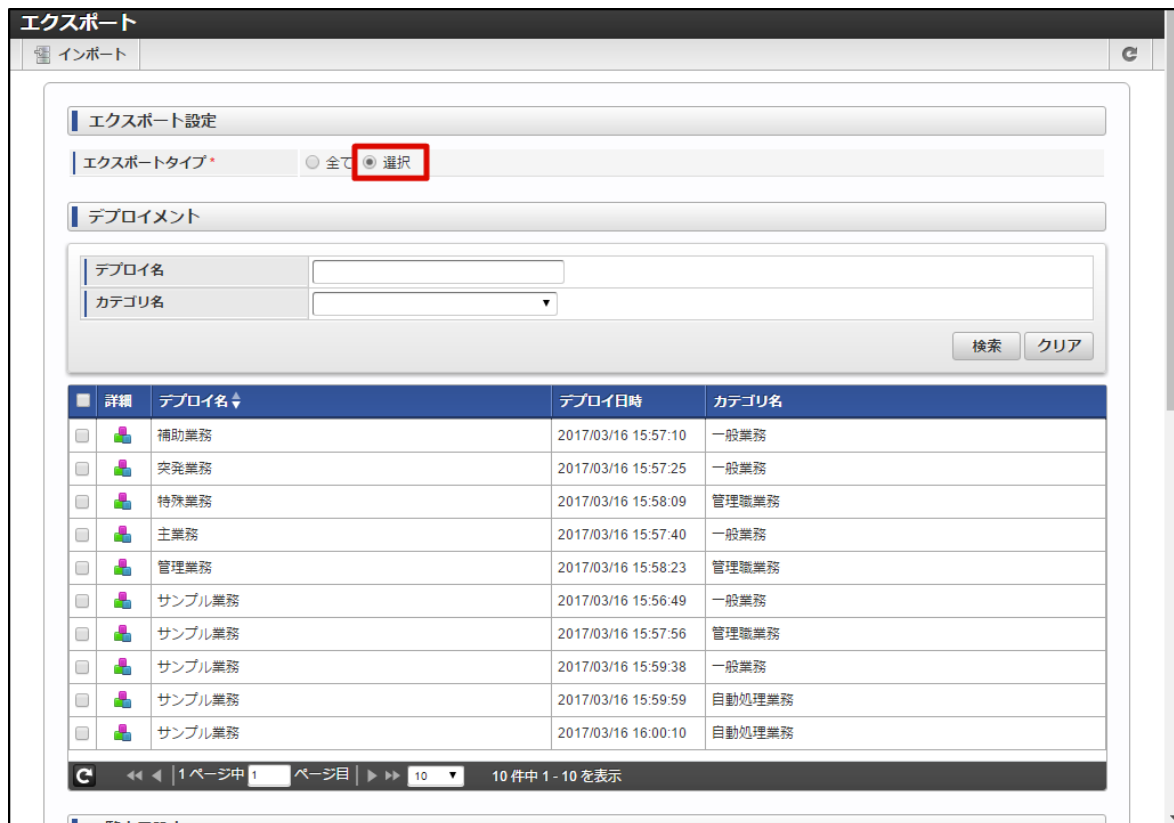
4. すべてのエクスポート対象データが含まれたエクスポートファイルをダウンロードできます。

エクスポート対象データについては、「[IM-BPM 仕様書](#)」 - 「[インポート/エクスポートで扱う情報](#)」を参照してください。

指定のデータをエクスポートする

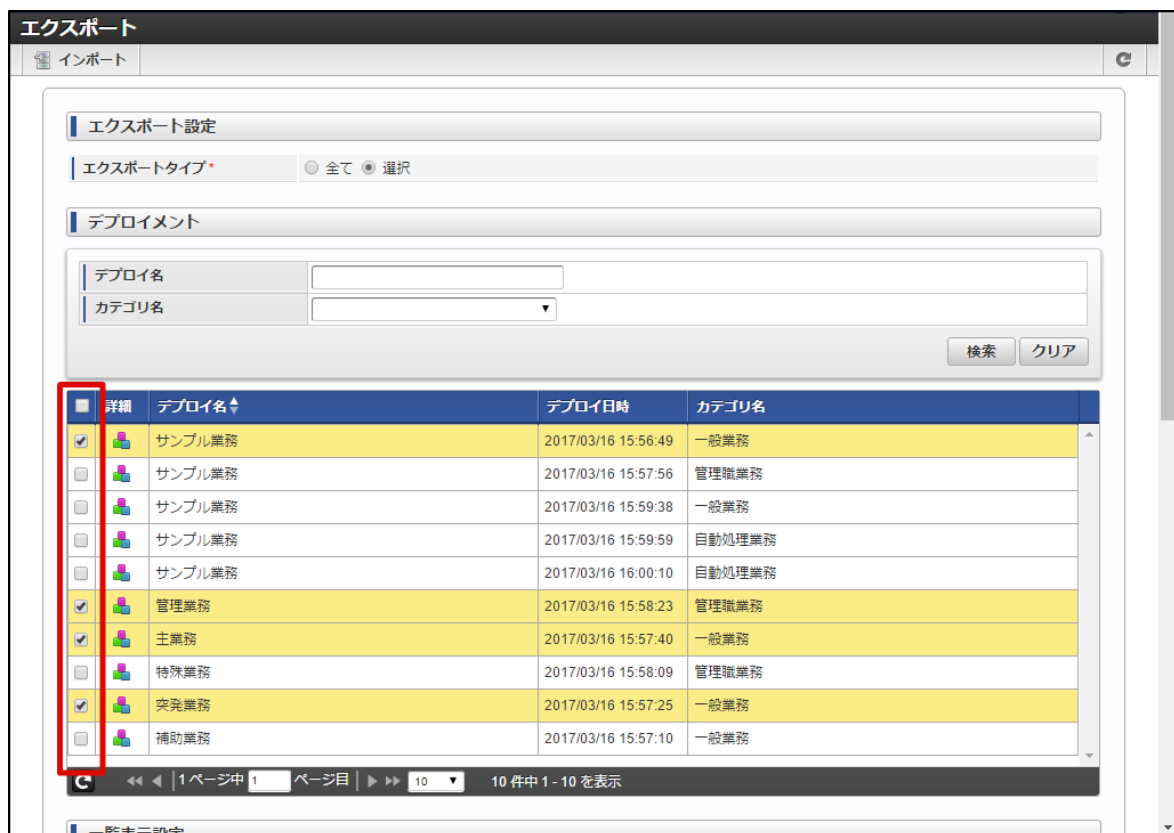
1. 「サイトマップ」 - 「BPM」 - 「エクスポート」を押下し、「エクスポート」画面を表示します。

2. エクスポートタイプのラジオボタンで「選択」を押下し、各エクスポート対象データの一覧を表示します。



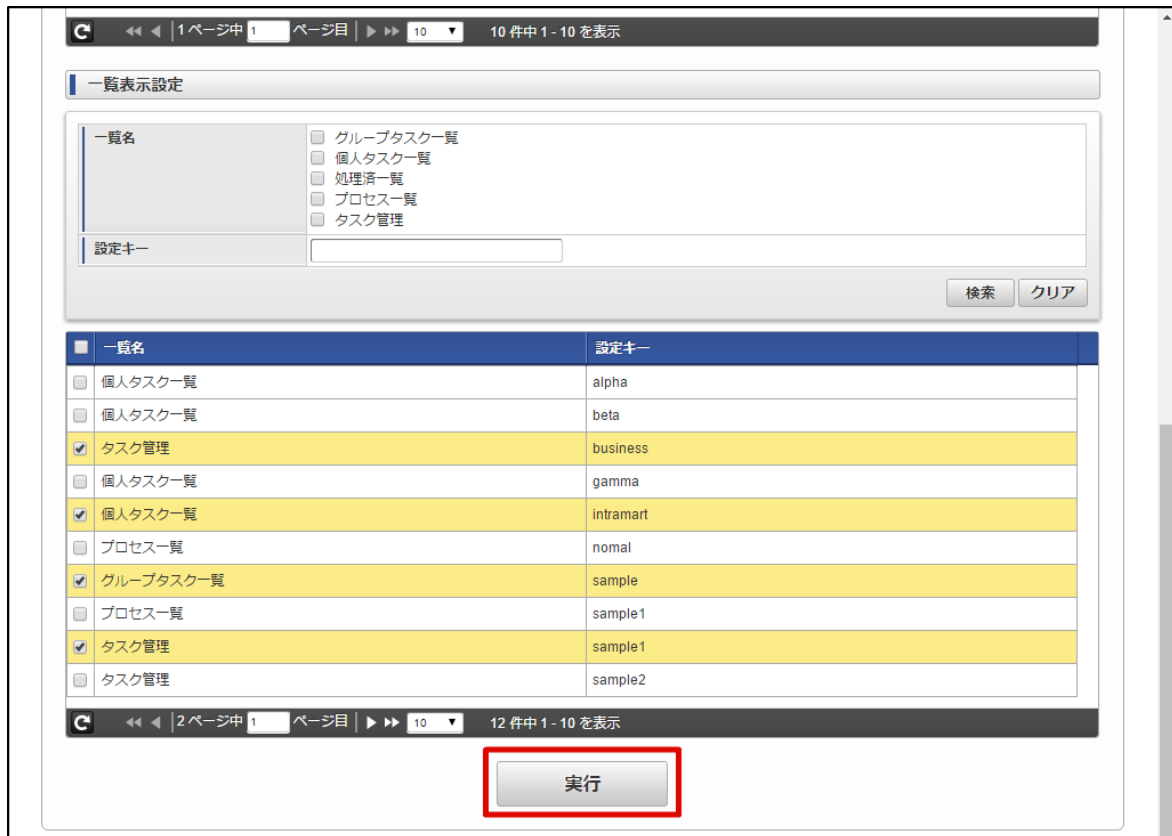
図：エクスポート画面

3. 一覧からエクスポートするデータを検索し、選択します。



図：エクスポート画面

4. 「実行」ボタンを押下し、エクスポートを実行します。

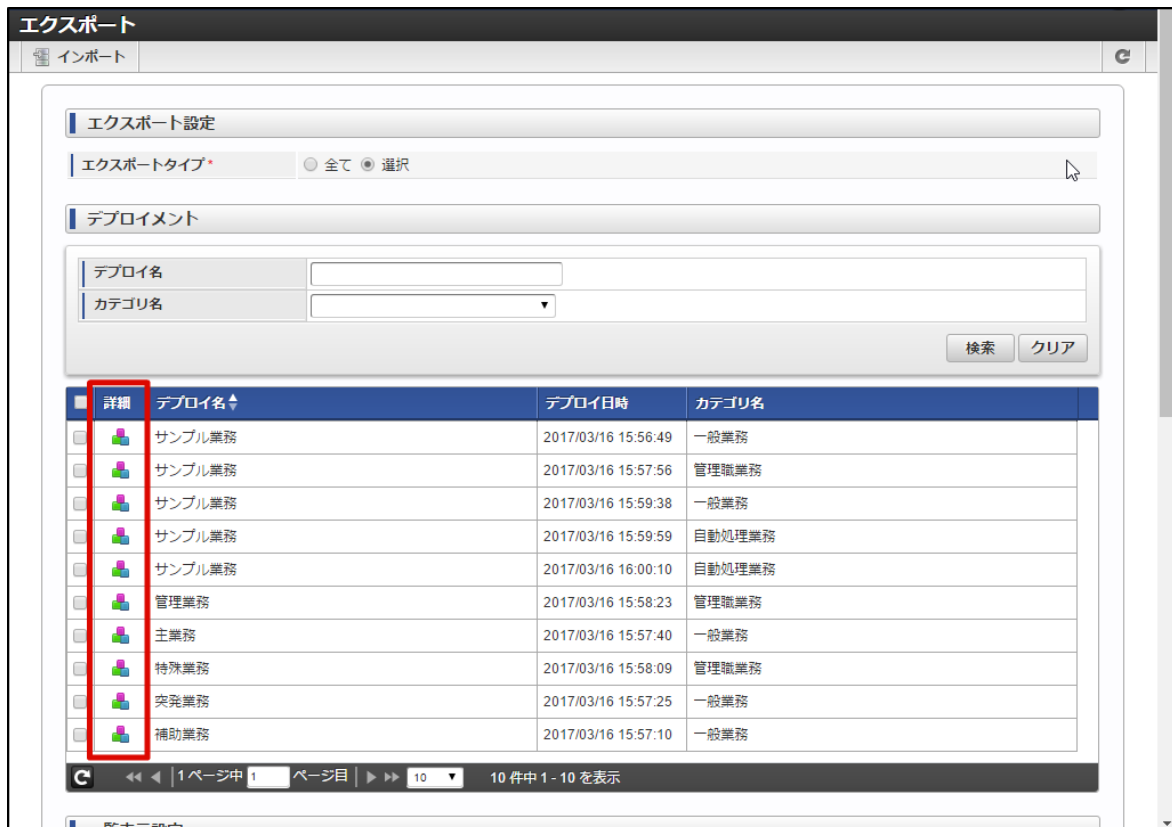


図：エクスポート画面

5. 選択したデータが含まれたエクスポートファイルをダウンロードできます。

エクスポートするデプロイメントの内容を確認する





1. エクスポート画面の「デプロイメント」一覧で、「詳細」アイコンを押下します。



図：デプロイメント一覧

2. デプロイメントリソース画面がポップアップし、デプロイメントの内容を確認することができます。

デプロイメントリソース

プロセス図	リソース	タイプ	プロセス定義キー	プロセス定義バージョン	プロセス定義名
	incident_IncidentManagement.bpmn	processDefinition	IncidentManagement	1	インシデント管理
	purchase_process.bpmn20.xml	processDefinition	purchase_process	1	購買管理プロセス
	sample-business-process.bpmn20.xml	processDefinition	sample-business-process	1	サンプル業務プロセス
	sample-project.jar	resource			
	simple-business-process.bpmn20.xml	processDefinition	simple-business-process	1	簡易業務プロセス
	手順書.docx	resource			
	誓約書テンプレート.xlsx	resource			

図：デプロイメントリソース